



はじめに

このたびは、東芝パーソナルコンピュータ EQUIUM^{エクイウム}シリーズをお買いあげいただきまことにありがとうございます。

EQUIUM3110シリーズはマイクロタワー型コンピュータです。

本書はEQUIUM3110シリーズの取り扱い、注意事項などについてまとめた取扱説明書です。

ご使用にあたっては、本書をよくご覧のうえ、正しくお使いください。また、一読されたあとも大切に保管し、必要なときにはすぐに取り出せるようにしてください。

また、ご購入のモデルによりシステム（OS）が異なります。ご購入のモデルに対応した部分をお読みください。

● 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



● 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータ業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

● 瞬時電圧低下対策について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

● レーザー製品の取り扱いについて

- ・本製品は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、説明書をよくお読みください。また、お読みいただいた後も必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに依頼してください。
- ・本説明書に記載された以外の調整・改造を行うと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- ・レーザー光に直接被爆しないため、絶対に製品を分解しないでください。

クラス1レーザー製品



・本装置の仕様は国内向けになっております。海外ではご使用にならないでください。

お願い

● 製品寿命について

- ・ 本製品の内蔵バッテリーの寿命は約 3 年です。

● お願い

本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。

本書の内容は、予告なしに変更することがあります。

記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスクなど）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。

購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意事項を。

本製品でサポートしているシステム（OS）は次のとおりです。

- ・ Microsoft® Windows® 98 SECOND EDITION operating system 日本語版
- ・ Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
- ・ Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0 日本語版

上記以外は動作の保証を行っておりません。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、東芝 PC ダイアル（巻末参照）までご一報ください。

お使いになる前に本体同梱のご愛用者カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

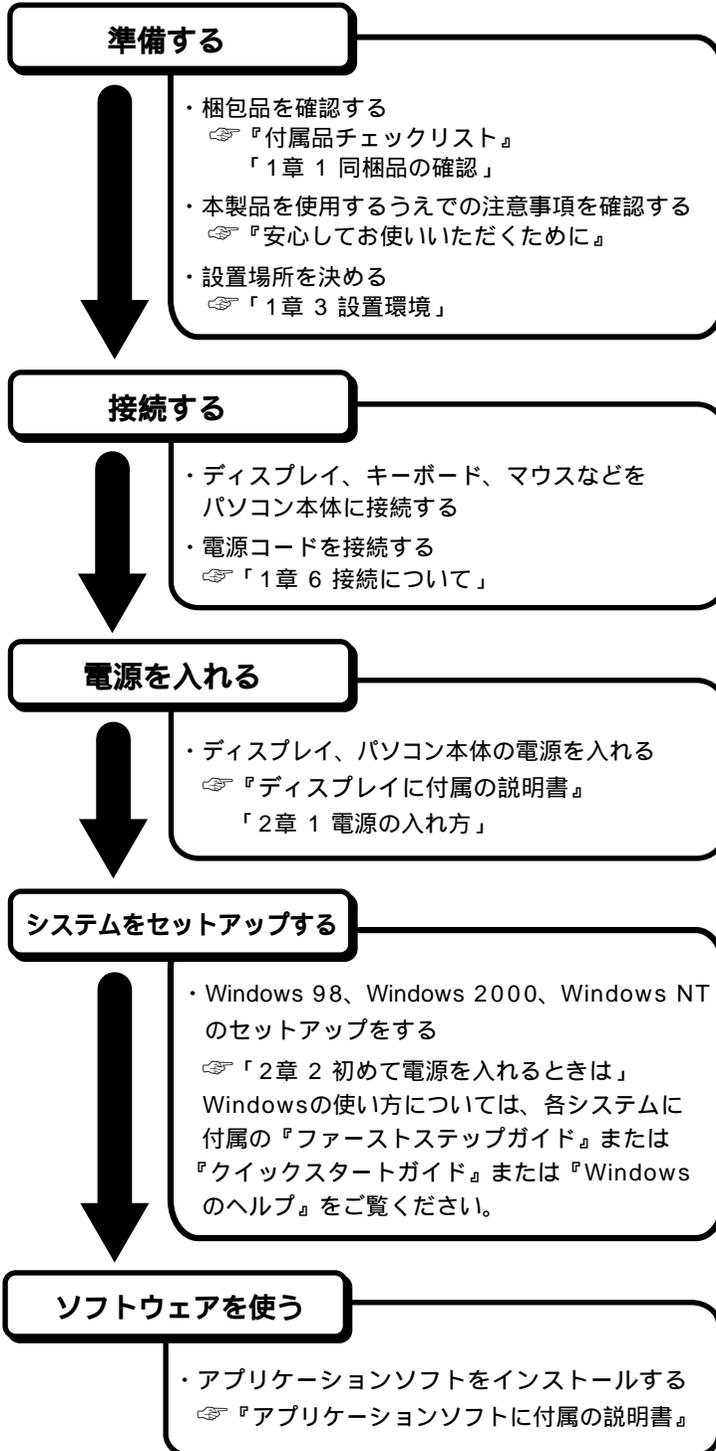
● Trademarks

- ・ Intel、Celeron は Intel Corporation の商標または登録商標です。
- ・ EGA、PS/2、VGA は米国 International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- ・ Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Ethernet、Fast Ethernet は富士ゼロックス社の商標または登録商標です。
- ・ Photo CD portions copyright Eastman Kodak Company 1995

その他の商品名、商標は各社の商標または登録商標です。



作業の進め方





本書の構成

本書の構成を次に示します。使用目的に合わせて必要なところからお読みください。

1章 電源を入れる前に (13ページ)	本装置をお使いいただく前に知っておいてほしいこと、注意などについてまとめています。
2章 電源の入れ方と切り方 (41ページ)	電源の入れ方・切り方、省電力機能について説明しています。
3章 システム機能の説明 (77ページ)	Windowsを操作するうえで、知っておくと便利な機能とその設定方法について説明しています。
4章 機器の拡張について (87ページ)	オプションを取り付ける場合のご注意と取り付け方法について説明しています。
5章 BIOSセットアップについて (143ページ)	ハードウェアセットアップの方法について説明しています。
6章 カスタム・リカバリCD /リカバリCDの使い方 (173ページ)	システムが動かなくなったときの対処方法について説明しています。
7章 困ったときは (181ページ)	「電源が入らない……」などの困ったときの対処方法について説明しています。
付録 (193ページ)	本装置の仕様や、その他の設定方法について説明しています。

● 参照マニュアル

- ・本装置で使用するオペレーティングシステム(OS)の説明については、各システムに付属の説明書をご覧ください。



本書の読み方

● 記号の意味



警告 ・ 誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意 ・ 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または、物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。



お願い

・ データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。



メモ

・ 知っておくと便利なことを説明しています。



参照先を示しています。

本書内の参照先は「」で示し、他の説明書の参照先は『』で示しています。

(注) 補足説明をしています。

● 画面の表し方

画面の全部、または一部を表します。

【例】

Total = X X X X KB

このように画面上または本文中の文字を X で表している場合は、実際にはさまざまな数字や記号が入ります。

● 入力するキーの表現

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを  で囲んで示しています。

 キーを押す  を押してください。

 キーを押す  を押してください。

 キーを押す  を押してください。

● 操作の表し方

操作や作業は、次のように示します。

【例】

操作が1つで済む場合は、次のように示します。

 キーを押す

キーを「+」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

 +  +  キーを押す

 キーと  キーを押したまま  キーを押します。

● 用語について

本書では、次の用語について定義します。

システム 特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム (OS) を示します。

Windows 98 Microsoft® Windows®98 SECOND EDITION operating system 日本語版を示します。

Windows 2000 Microsoft® Windows®2000 Professional operating system 日本語版を示します。

Windows NT Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0 日本語版を示します。

Windows Windows 98、Windows 2000、Windows NT を示します。

MS-IME2000 Microsoft® IME2000 を示します。

MS-IME98 Microsoft® IME98 を示します。

MS-IME97 Microsoft® IME97 を示します。

PCI LAN インタフェース... 特に説明がない場合は、パソコン本体に実装されている 10BASE-T および 100BASE-TX 対応の LAN インタフェースを示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

..... アプリケーションソフトウェアを示します。



機能と特長

● ネットワークに対応

- ・ Ethernet LAN (10BASE-T)、Fast Ethernet LAN (100BASE-TX) に対応

● 高解像度表示が可能

- ・ 標準 VGA (640 × 480) の他に SVGA 仕様もサポート
- ・ 3D グラフィック機能をサポート

● すぐれたシステム性能

- ・ システムメモリに SDRAM 64MB を標準装備
- ・ DIMM コネクタを 2 つ持ち、標準メモリを 256MB のメモリに差し替えたうえで空きメモリにも 256MB のメモリを取り付けることで、最高 512MB まで増設可能
- ・ 128KB のセカンドキャッシュを標準装備

● 3 モード FDD

- ・ 720kB、1.2MB、1.44MB の 3.5 型フロッピーディスクを使用可能。ただし、Windows 98 環境下では 1.2MB のフォーマットはできません。

● マルチメディアに対応

- ・ 40 倍速 (最大) CD-ROM 装置を標準で内蔵
- ・ サウンド機能を標準で装備 (AC97 準拠)

● 高い拡張性

- ・ PCI スロットを 3 つ装備 (内 1 つは LAN カードで使用)
- ・ ファイルスロット (フルサイズ) を 2 つ装備 (内 1 つは、CD-ROM 装置で使用)

● 使いやすさ

- ・ Windows 98、Windows 2000 / Windows NT のいずれかをインストール済み
- ・ 洗練されたデザインとイージーメンテナンスを実現



目次

はじめに	1
作業の進め方	3
本書の構成	4
本書の読み方	5
機能と特長	7
目次	8
1 章 電源を入れる前に	13
1 同梱品の確認	14
2 各部の名称と機能	15
1 本体正面	15
2 本体背面	18
3 マウス	20
4 キーボード	22
3 設置環境	24
1 設置場所について	24
2 電源について	24
3 健康のために	24
4 取り扱いについて	26
1 電源コードについて	26
2 ハードディスク装置について	26
3 CD-ROM 装置について	26
4 フロッピーディスク装置について	28
5 使用上のお願い	31
1 連続運転について	31
2 日常のお手入れと保管・運搬	31
3 消耗品	32
4 妨害電波・電圧について	33
5 修理・サービスについて	33
6 廃棄について	33
6 接続について	34
1 接続完成図	34
2 接続の順番	35
3 ディスプレイ（別売り）の接続	36
4 キーボードの接続	38
5 マウスの接続	38
6 電源コードの接続	39

2章	電源の入れ方と切り方	41
1	電源の入れ方	42
2	初めて電源を入れるときは	43
1	Windows 98 のセットアップ	44
2	Windows 2000 のセットアップ	50
3	Windows NT のセットアップ	59
4	ユーザ登録をする	67
3	電源の切り方	68
1	Windows 98 の電源の切り方	68
2	Windows 2000 の電源の切り方	69
3	Windows NT の電源の切り方	70
4	省電力機能について	72
1	省電力機能について	72
2	省電力モードについて	72
3	省電力機能を作動させるには	73
4	省電力モードから復帰するには	76
3章	システム機能の説明	77
1	日本語入力システム MS-IME について	78
1	MS-IME ツールバーの表示	78
2	入力文字種を選択	78
3	MS-IME ツールバーの使用方法	79
2	インジケータ領域について	80
1	日本語入力インジケータ	80
2	スピーカインジケータ	80
3	日付と時刻の設定	80
4	画面インジケータ (Windows 98 モデル)	80
3	ディスプレイ解像度の変更	81
4	ドライバのインストールについて	85

4 章	機器の拡張について	87
1	作業を始める前に	88
2	LANの接続	90
1	適正なケーブルの確認	90
2	LANケーブルの接続	90
3	テクニカル情報	91
4	Windows 98のネットワーク設定について	92
5	Windows 2000のネットワーク設定について	95
6	Windows NTのネットワーク設定について	96
3	プリンタの接続	98
1	プリンタの接続	98
2	プリンタ設定について	99
4	マイク（別売り）の接続	102
5	スピーカ（別売り）の接続	103
6	本体カバーの取りはずし、取り付け	104
1	本体カバーの取りはずし	104
2	本体カバーを取りはずしたところ（横面から）	106
3	本体カバーの取り付け	107
7	オプションカード	109
1	拡張スロットの位置	109
2	オプションカードの取り付け	111
3	オプションカードの取りはずし	112
8	増設ハードディスク装置	113
1	IDE インタフェースについて	113
2	増設ハードディスク装置のジャンパについて	113
3	増設ハードディスク装置の取り付け	115
4	増設ハードディスク装置の取りはずし	117
5	増設ハードディスク装置の設定	119
9	増設5型装置	129
1	増設5型装置の取り付け	129
2	増設5型装置の取りはずし	131
10	増設メモリカード	133
1	増設メモリカードの取り付け	134
2	増設メモリカードの取りはずし	136
11	内蔵バッテリーの交換	137
12	内部ケーブルの接続	139
1	メインボードのコネクタ接続位置	139
2	コネクタへの接続	139
3	装置への接続	141

5章	BIOS セットアップについて	143
1	BIOS セットアップとは	144
1	BIOS セットアップの起動方法	144
2	BIOS セットアップの操作方法	145
3	BIOS セットアップの内容	146
2	BIOS を工場出荷時設定に戻すには	148
3	STANDARD CMOS SETUP の詳細	149
4	ADVANCED CMOS SETUP の詳細	151
5	ADVANCED CHIPSET SETUP の詳細	154
6	POWER MANAGEMENT SETUP の詳細	155
7	PCI/PLUG AND PLAY SETUP の詳細	160
8	PERIPHERAL SETUP の詳細	162
9	HARDWARE MONITOR SETUP の詳細	165
10	Auto-DETECT HARD DISKS	166
11	Password の詳細	167
12	工場出荷時の設定値	169
6章	カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD の使い方	173
1	カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは	174
1	カスタム・リカバリ CD とは (Windows 98 モデル)	174
2	リカバリ CD とは (Windows 2000 / NT モデル)	174
2	標準システムを復元する	175
1	準備	175
2	操作手順	175
3	最小構成でシステムを復元する (Windows 98 モデル)	178
1	準備	178
2	操作手順	178
4	アプリケーションを再インストールする (Windows 98 モデル)	179
1	操作手順	179
7章	困ったときは	181
1	困ったときの Q & A	182

付録	193
1 製品仕様	194
1 仕様概要	194
2 外形寸法図	196
3 メモリマップ	197
4 I/O マップ	198
5 割り込みレベル・DMA チャンネル	199
2 各インタフェース	200
1 RGB インタフェース	200
2 RGB インタフェースの同期信号	200
3 シリアルインタフェース	201
4 パラレルインタフェース	201
5 キーボード・マウスインタフェース	202
6 MIDI/ ジョイスティックインタフェース	202
7 USB インタフェース	203
8 拡張スロット (PCI タイプカード用)	203
3 その他の設定	206
1 Windows 98 モデル	206
2 Windows NT モデル	208

1

電源を入れる前に

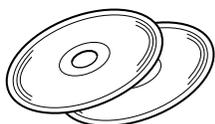
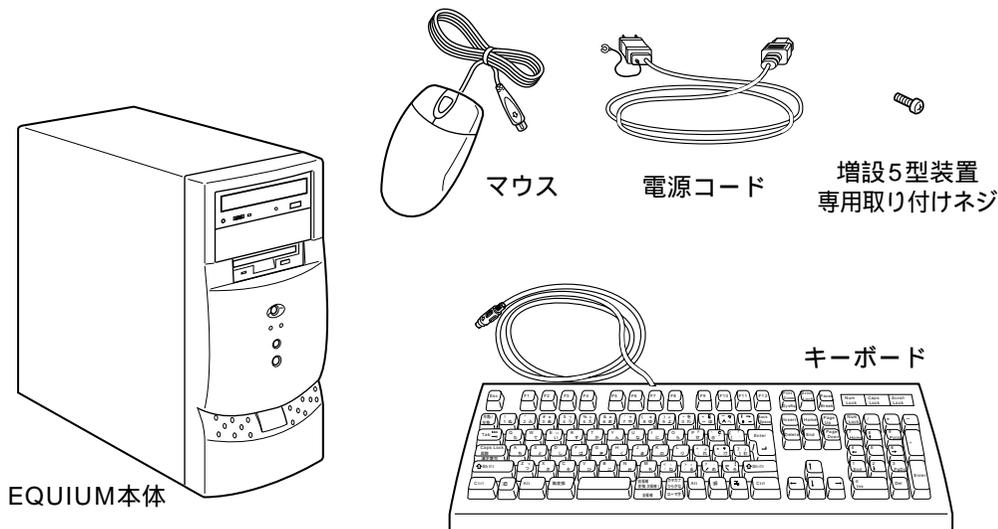
本章では、パソコンの電源を入れる前に、必要な準備について説明します。

1	同梱品の確認	14
2	各部の名称と機能	15
3	設置環境	24
4	取り扱いについて	26
5	使用上のお願い	31
6	接続について	34

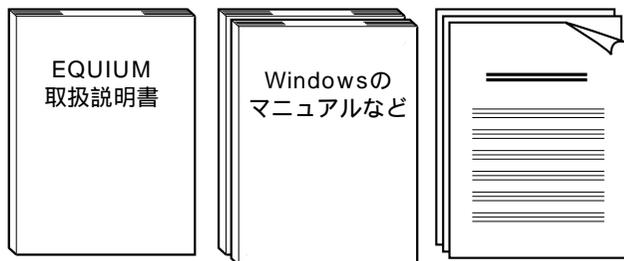
1 同梱品の確認

主な同梱物を次にあげます。添付の『付属品チェックリスト』にて梱包箱の中の付属品をご確認ください。

万一、本商品に不都合な点が生じた場合は、東芝営業窓口または、『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションまでご連絡ください。



リカバリ用CD-ROMなど
詳細は『付属品チェックリスト』をご覧ください。



その他の説明書、ご案内など
・安心してお使いいただくために
・保守サービスのご案内
・ソフトウェア使用許諾書
・付属品チェックリスト
・保証書
など

(注) この他にも、同梱物があります。確認には『付属品チェックリスト』をご覧ください。

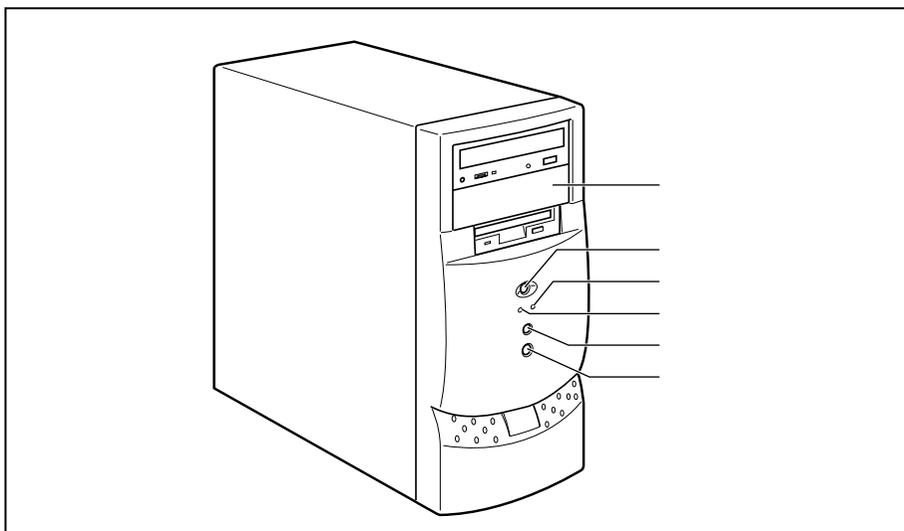


メモ

- ・Windows 2000 / NT モデルに同梱されるアプリケーション CD-ROM には、Windows 2000 / NT でご利用になれるドライバおよびアプリケーションが入っています。アプリケーション CD-ROM の詳細については、アプリケーション CD-ROM を CD-ROM 装置にセットし、Autorun 機能により表示される初期画面をご覧ください。
- ・システムを Windows 98 から、Windows 2000 や Windows NT に変更する場合は、同システムの市販品の購入が必要です。本製品に対応の Windows 2000 / NT 用ドライバは東芝 PC サービス&サポート [<http://www5.toshiba.co.jp/pcss/>] に掲載予定です。ただし、対応可能な機能には制限があります。また、東芝 PC Member's Club ホームページにアクセスするには、ユーザ登録が必要です。

② 各部の名称と機能

① 本体正面



ファイルスロット

5 型タイプの周辺装置などを増設できます。

スリープスイッチ 

Windows 98 / 2000 の場合、パソコン本体を省電力モードと通常モードに切り替えます。

Windows NT には省電力モードがないため、スリープスイッチは使用できません。省電力モードになると、システムの消費電力を抑え、次の状態になります。

- ・本体の電源ランプが橙色に点灯する（システムのスタンバイモード）
- ・ディスプレイの画面が真っ暗になる



お願い

・省電力モードでも一定の電力を消費しています。長時間使用しない場合は、1 度省電力状態を解除してから Windows 98 / 2000 を終了してください。



注意

・スイッチ類を強く押し込まないでください。

本体が壊れるおそれがあります。

通常モードから省電力モードへの切り替えおよび省電力モードの解除には、多少時間がかかります（システムの状態によって異なります）。

☞ 省電力モードについて ☞ 「2 章 4 省電力機能について」

電源ランプ

電源がONのとき緑色に点灯します。

パソコン本体が省電力モード（システムのスタンバイモード）のときは橙色に点灯します。



注意 ・ディスプレイの画面が真っ暗でも、電源ランプが橙色に点灯している時は省電力モードです。作成中のデータが消失するおそれがあるので、電源スイッチを押さないでください。

☞ 省電力モードについて ☞ 「2章 4 省電力機能について」

HDD アクセスランプ

ハードディスク装置の読み書きが行われているときに緑色に点灯します。

リセットスイッチ

システムの再起動を行います。



注意 ・正常に動作しているときは押さないでください。システムがロックした（キーボードやマウスからの入力を受け付けない）場合のみ使用してください。保存していないデータは消えてしまいます。



メモ ・通常の再起動は、[スタート] ボタンをクリックし、Windows 98 の場合は [Windows の終了] を、Windows 2000 やNTの場合は、[シャットダウン] を選択して行います。

電源スイッチ

パソコン本体の電源を入れるためのスイッチです。

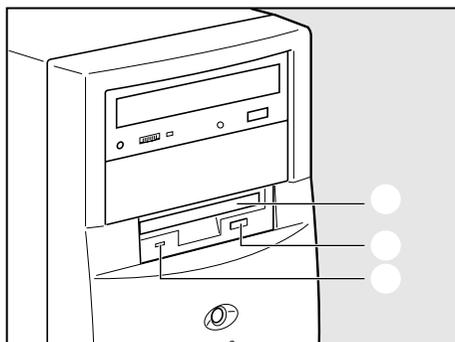
電源を入れるときは、電源スイッチを押し、電源ランプが点灯したことを確認してから離します。

☞ 電源の入れ方 / 切り方について ☞ 「2章 電源の入れ方と切り方」

● フロッピーディスク装置

3.5 型 2HD、2DD 形式のフロッピーディスクが使用できます。

部分拡大図（本体正面）



ディスク挿入口

フロッピーディスクを挿入します。取り出しは、イジェクトボタンで行います。

イジェクトボタン

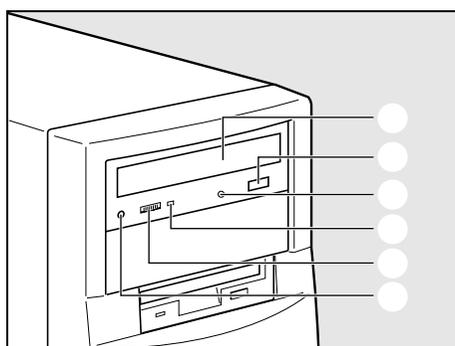
フロッピーディスクをフロッピーディスク装置から取り出すとき、押します。

FDD アクセスランプ

フロッピーディスクの読み書きが行われているときに緑色に点灯します。

● CD-ROM 装置

部分拡大図（本体正面）



ディスクトレイ

CD をセットする部分です。出し入れは、イジェクトボタンで行います。

イジェクトボタン

ディスクトレイの出し入れのときに押します。

イジェクトホール

故障などで電源が入らない場合、ディスクを強制的に出すときに使用します。通常は使用しません。

CD-ROM アクセスランプ

CD の読み取りが行われているときに、緑色に点灯します。

ボリューム

CD のステレオホンジャックからの音量を調整できます。CD の種類によっては音量の調整ができない場合があります。

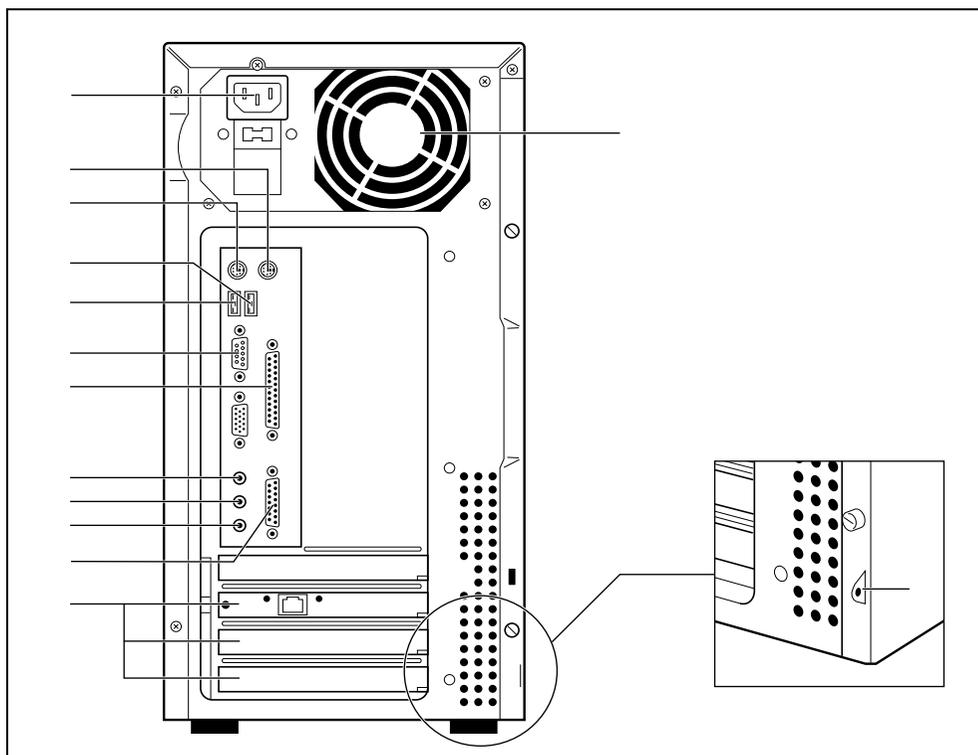
ステレオホンジャック

3.5 mm ステレオミニジャックタイプのヘッドホンやイヤホンを接続できます。



注意 ・ヘッドホンやイヤホンを使用するときは、音量を上げすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量を長時間続けて聴くと、聴力に悪影響を与えるおそれがあります。

2 本体背面



通風口

本装置内部で発生する熱を放出します。ふさがないでください。

電源コネクタ (AC POWER INLET)

電源コードを接続します。

マウスコネクタ

付属の PS/2 マウスを接続します。

キーボードコネクタ

付属のキーボードを接続します。

USB コネクタ 1

USB 機器が接続できます。(Windows NT モデルでは使用できません)

USB コネクタ 2

USB 機器が接続できます。(Windows NT モデルでは使用できません)

シリアルコネクタ (RS-232C)

外付けモデムなどが接続できます。

パラレルコネクタ (プリンタ)

プリンタが接続できます。

プリンタ以外にも、セントロニクスインタフェース仕様のケーブルが取り付けられます。

アナログ RGB コネクタ 

ディスプレイを接続します。

LINE OUT 端子 

3.5 mm ステレオミニジャックタイプのスピーカが接続できます（本製品にはスピーカは付属していません。アンプ付きスピーカをお買い求めください）。

LINE IN 端子 

3.5 mm モノラルミニジャックタイプのオーディオ機器などが接続できます。

マイク端子 

3.5 mm モノラルミニジャックタイプのマイクが接続できます（本製品にマイクは付属していません。パソコン用コンデンサマイクをお買い求めください）。

MIDI / GAME コネクタ 

ジョイスティックなどを接続します。

PCI スロット

PCI 対応カードが取り付けられます。内 1 つは LAN カードが接続されています。

 装着可能なオプションカード ⇨ 「4 章 7 オプションカード」

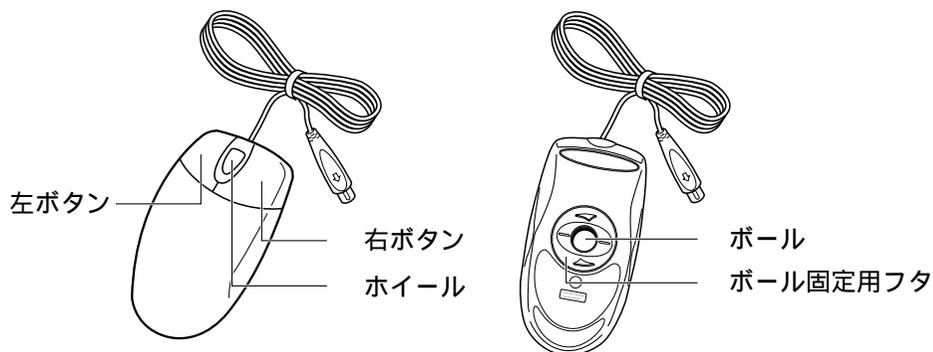
セキュリティロックスロット

盗難 / カバー開閉防止用に、鍵などを取り付けることができます。

3 マウス

Windows は、画面に表示される「アイコン」「ボタン」「メニュー」などをマウスにより操作します。ここでは、マウスの使い方について説明します。

マウスは、本装置の電源を初めて入れたときに行う Windows セットアップから使用しますので必ずお読みください。



右ボタン

操作を取り消したり、文字やアイコンのコピーを行います（アプリケーションにより、機能が異なります）。

ホイール

画面のスクロールなどができます（ホイール付きマウス対応のアプリケーションで使用できます）。

左ボタン

文字やアイコンを選択することができます（アプリケーションにより、機能が異なります）。

ボール

マウスの中に入っています。ボールが転がる方向に合わせて画面上のマウスポインタが移動します。

ボール固定用フタ

ボールが飛び出さないように押さえているフタです。マウスのお手入れのときのみ、取りはずしてください。

● マウスの動かし方

本装置を起動すると、画面上に矢印（）が表示されます。これを「マウスポインタ」といいます。

マウスを動かすと、内部のボールが転がる方向に合わせて、マウスポインタが画面上を移動します。画面上のマウスポインタを見ながらマウスを動かしてみてください。

マウスを動かす場所がなくなったときは、マウスを1度持ち上げて、動かしやすい場所に戻してください。なお、マウスを空中で動かしてもマウスポインタは移動しません。



お願い

- ・マウスは平らな机の上などで使用してください。
- ・ボールが転がりにくい場所で使用すると、マウスポインタの動きが鈍くなる場合があります。
- ・マウスは手のひらで包むように持って、滑らせるように動かしてください。押さえつけて動かすと故障の原因になります。
- ・左ボタン、右ボタンはボタンの中央付近を軽く押してください。
- ・強く押すと、ドラッグ時にマウスポインタの動きが鈍くなったり、故障の原因となります。

● マウスの操作方法



お願い

- ・マウスのボタンは、ボタンの上に指を置いて押してください。上からたたくように押すと、故障の原因になります。

● ポイント

ポイントとは、画面上のマウスポインタの先端を目的の位置に移動させて置くことをいいます。

● クリック

マウスのボタンを1回押して、すぐ離す動作をいいます。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。

● ダブルクリック

マウスのボタンをすばやく2回押して、すぐ離す動作をいいます。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。

● ドラッグ

マウスのボタンを押したまま、マウスを移動させることをいいます。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。また、画面上の「アイコン」などのオブジェクトをドラッグして、移動先でボタンを離すことを「ドラッグ アンド ドロップ」といいます。

● ホイールを回す

ホイールを前後に回す動作をいいます。



メモ

- ・本書では、マウスの使い方は標準設定状態であることを前提として書かれています。

4 キーボード

本装置のキーボードは、106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)にWindowsをより便利に使う、Win(ウィンドウズ)キー、アプリケーションキーを追加した109キーボードです。

BackSpace(バックスペース)キー
カーソルが左に移動し、文字が削除されます。

F(ファンクション)キー (F1~F12)
各アプリケーションソフトにより、いろいろな機能が割り当てられます。

Esc(エスケープ)キー
操作の取り消しなどに使用します。

Tab(タブ)キー
項目を移動するときなどに使用します。

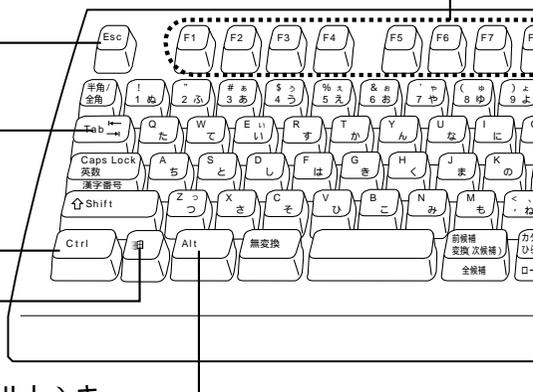
Alt(オルト)キー
他のキーと組み合わせて使用します
(アプリケーションごとに機能が異なります)。

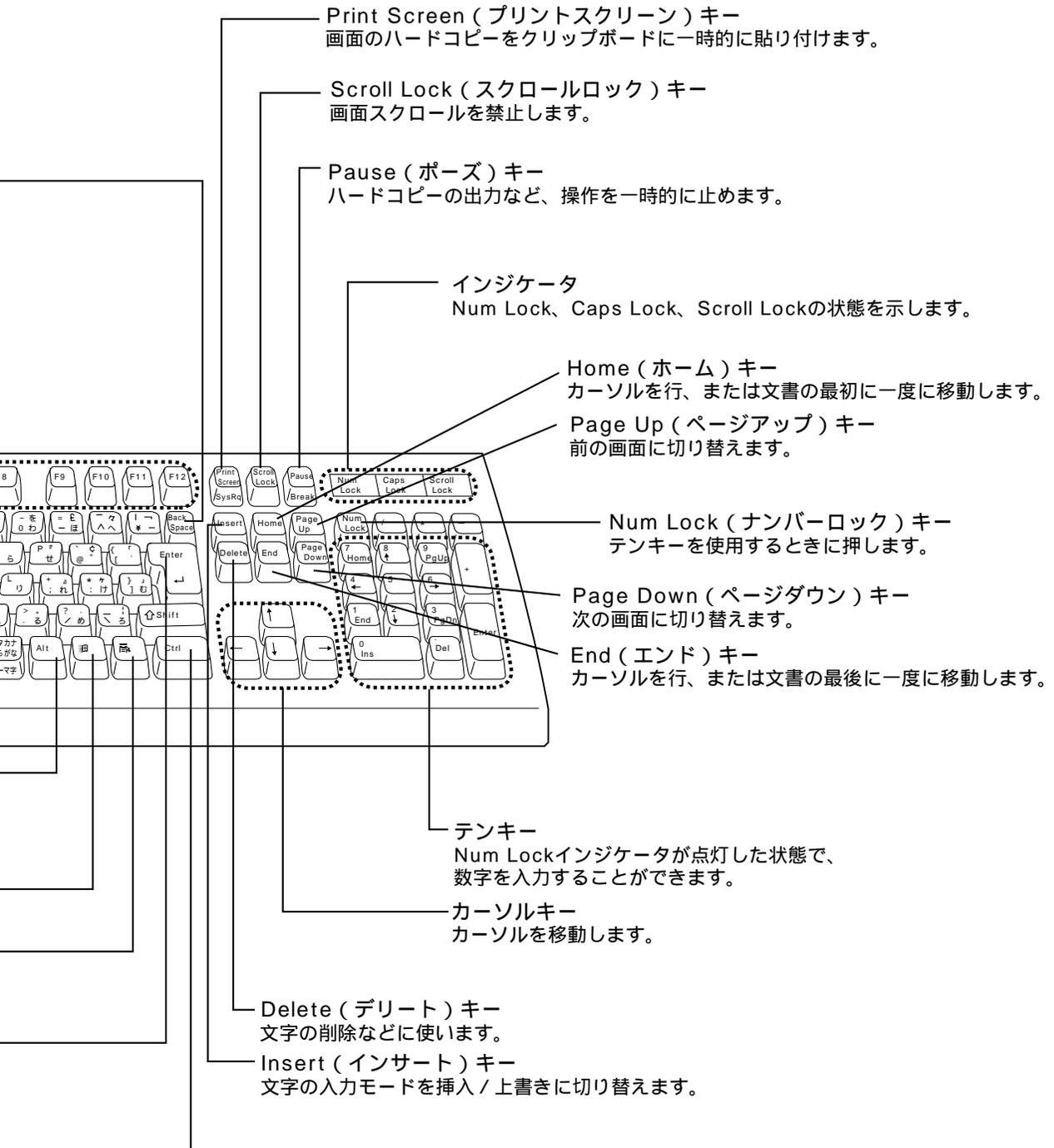
Win(ウィンドウズ)キー
他のキーとの組み合わせで、ショートカットとして使用できます。

アプリケーションキー
マウスの右ボタンをクリックすることと同様に動作します。

Enter(エンター)キー
操作を実行するときなどに使います。

Ctrl(コントロール)キー
他のキーと組み合わせて使用します(アプリケーションごとに機能が異なります)。





3 設置環境

1 設置場所について

凹凸のない水平な場所で、十分なスペースを確保できる場所を選んで設置してください。特に通風口のある背面は、少なくとも壁から 10cm 程度離すようにしてください。



お願い

- ・本体を横向きで設置、使用しないでください。
誤動作や故障の原因となります。

次の範囲で、急激な温度変化を与えない（結露させない）ようにご使用ください。

温度	10 ~ 35
湿度	20% ~ 80%Rh

2 電源について

空調機や複写機などの、高い消費電力を必要としたり、ノイズを発生させる機器と同じコンセントから電源を取らないでください。

定格電圧	AC100V (50Hz / 60Hz)
消費電力	最大75W

3 健康のために

● 使用時の姿勢

キーボードが肘よりも少し下にくるように椅子の高さを調節する
おしりよりも膝が少し高くなるように座る
背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する
膝と肘はほぼ 90 度になるように、まっすぐ座る
前に屈んだり、背もたれに寄りかかったりしないでください。



● 使用方法

リラックスした姿勢で座る

肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子やマウスなどを正しい位置に置いてください。

適度に姿勢を変える

時々立ち上がってストレッチをする

1日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。

長時間画面を見続けないようにする

15分ごとに30秒ぐらいの割合で遠くを見てください。

1度の休憩は短くても良いので、なるべく回数を多くとる

30分に2～3分とるのが理想的です。

ディスプレイの角度、輝度、明るさ、コントラストなどを、画面が見やすいように調節する

☞ 『ディスプレイに付属の説明書』

ディスプレイの表示画面を定期的に清掃する

表示画面がホコリなどで汚れると、表示内容が見にくくなります。

4 取り扱いについて

1 電源コードについて

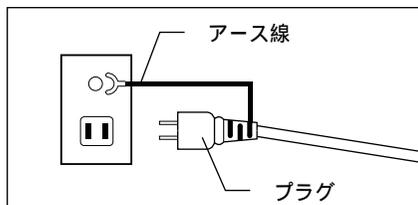
電源コードは大切に扱ってください。コードに傷がついたり、電線が露出していると火災・感電の危険があります。次のことを必ず守ってください。



- 注意**
- ・電源コードは、付属のアース線付き 2 ピンコードを使用してください。
 - ・アース線は安全のため、コンセントのアース端子に接続してください。



- ・電源コードの接続は、アース線、プラグの順に行なってください。取りはずす場合は、取り付けと逆の順番（プラグ アース線）で行なってください。
- ・コンセントから抜くときは必ず差し込みプラグを持って引き抜いてください。
- ・コードの上に重いものをのせないでください。
- ・コードを無理に曲げたり、ねじったり、結んだり、つぎ足したりしないでください。
- ・熱器具に触れないよう、十分な距離をとってください。



2 ハードディスク装置について



- ・電源が入っている状態で本体に衝撃、振動を与えないでください。HDD アクセスランプが消灯していてもハードディスク装置のヘッドはデータエリアにあります。
- ・パソコン本体の電源を切るとハードディスク装置のヘッドが自動的に退避されます。ただしハードディスク装置が停止するまでには、約 30 秒かかります。電源を切って 30 秒以上経過してから本体を移動してください。衝撃によってデータエリアを破壊するおそれがあります。

3 CD-ROM 装置について



- ・CD をディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- ・CD-ROM 装置の CD-ROM アクセスランプが点灯中は、イジェクトボタンは押さないでください。故障の原因となる場合があります。
- ・CD-ROM 装置を使用しないときは、必ず CD を取り出しておいてください。
- ・外側を切り欠いた CD など正常な円形ではない CD や、変形した CD、かたよった位置にラベルを貼った CD は使用しないでください。異常振動の発生や故障の原因となります。

CD の取り扱い

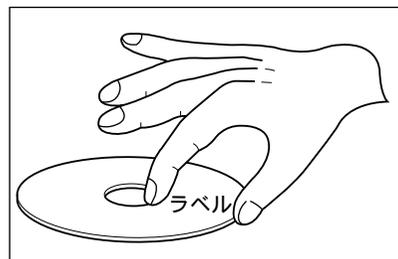
CD の内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

CD を折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD を読み込むことができなくなります。

CD を直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD の上に重いものを置かないでください。

CD は専用のケースに入れ、保管してください。

CDを持つときは、外側の溝か、中央の穴のところを持つようにしてください。表面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。



CDの表面に文字などを書かないでください。
CDが汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって拭くようにしてください。もし乾燥した布で拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。
ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

使用できるCDは、次の種類です（読み取りのみ可能です）。

音楽CD

8cm、12cmの音楽用CDが聴けます。

Photo CD（Windows NTモデルではご使用になれません）

CD-ROM

使用するシステムに適合するISO9660フォーマットのもの

CDエクストラ（Windows NTモデルではご使用になれません）

CD-R

CD-RW



メモ

・ISO9660フォーマットとは、パソコンのシステム（OS）や機種が異なっても共通に利用することができるCD-ROMのフォーマットです。ISO（国際標準化機構）が1988年に決めました。

CDのセットと取り出し



注意 ・電源が入っているときにはイジェクトホールを押さないでください。
CDのデータやCD-ROM装置が壊れるおそれがあります。



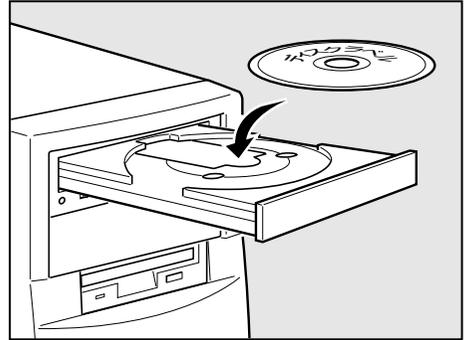
お願い

・CDのセットと取り出しは、電源ON時に行なってください。電源OFF時にイジェクトボタンを押しても、ディスクトレイの出し入れはできません。また、イジェクトボタンは、CD-ROMアクセスランプが消灯している状態で押してください。
・故障などで電源が入らない場合は、CD-ROM装置のイジェクトホールを先の細い、丈夫なもの（例えばクリップを伸ばしたもの）で押してください。ディスクトレイが出てきます。

● CDのセット

CD-ROM 装置へ CD をセットするには、次のように行います。

- 1 CD-ROM 装置のイジェクトボタンを押す
ディスクトレイが出てきます。
- 2 CD ディスクラベルを上にして、ディスクトレイの中央にのせる
- 3 CD-ROM 装置のイジェクトボタンを押す
ディスクトレイが格納されます。



● CDの取り出し

CD-ROM 装置から CD を取り出すには次のように行います。

- 1 CD-ROM 装置のイジェクトボタンを押す
ディスクトレイが出てきます。
- 2 CD の中央と外側の縁を持って取り出す
- 3 CD-ROM 装置のイジェクトボタンを押す
ディスクトレイが格納されます。

④ フロッピーディスク装置について



注意 ・フロッピーディスク装置のFDDアクセスランプが点灯中は、データの書き込み、読み取り中です。アクセスランプが点灯中に次のことを行くと、フロッピーディスク内のデータが消失することがあります。

- ・フロッピーディスク装置のイジェクトボタンを押す
- ・パソコン本体の電源を切る

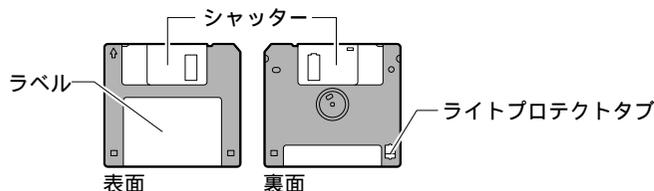


お願い

・フロッピーディスク装置を使用しないときは、必ずフロッピーディスクを取り出して置いてください。

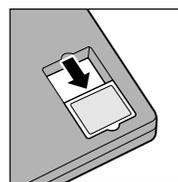
● 3.5 型フロッピーディスク

フロッピーディスクには、大切な情報を保護するための書き込み保護機構がついています。これにより、誤ってデータを消したりしないようにすることができます。



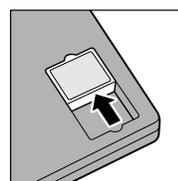
書き込み保護をセットするには

図のようにライトプロテクトタブを外側に移動させて、穴が開いた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みはできません。データの読み込みはできます。



書き込み保護を解除するには

図のようにライトプロテクトタブを内側に移動させて、穴が閉じた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みも読み込みもできます。



なお、いずれの場合も「カチッ」と音がするまでライトプロテクトタブを移動させてください。

フロッピーディスクの取り扱い

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。

フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

シャッター部は開けないでください。また、磁性面には触れないでください。磁性面が汚れると使用できなくなります。

スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。記録した内容が消失するおそれがあります。

直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。本やノートなど重いものを上に載せないでください。

次の範囲内の環境で保管してください。

保管温度 4 ~ 53

保管湿度 8 ~ 90%Rh

ラベルは正しい位置に貼ってください。貼りかえるときは重ね貼りしないでください。

ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。

保管の際は、プラスチックケースに入れてください。

食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。



3.5 型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。
他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかったり、フロッピーディスク装置の寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

製品番号	形式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

フロッピーディスクがパソコン本体のフロッピーディスク装置に正しく挿入されていないと、次のようなメッセージのウィンドウが表示され、フロッピーディスクの読み書きができません。

- ・ドライブ A : にアクセスしたとき、「A:¥ にアクセスできません。デバイスの準備ができていません」などのメッセージウィンドウが表示される
- ・フォーマット済みのフロッピーディスクを挿入しても、「ドライブ A のディスクはフォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか?」というメッセージのウィンドウが表示される

この場合は、[キャンセル]または[いいえ]ボタンをクリックして画面を閉じてください。そのあとフロッピーディスクをもう一度挿入し直して、再度アクセスを行なってください。

● フロッピーディスクのセットと取り出し

フロッピーディスクをフロッピーディスク装置に挿入することを「フロッピーディスクをセットする」といいます。

● フロッピーディスクのセット

- 1 フロッピーディスクの隅に書かれている矢印の向きに合わせて挿入する
「カチッ」と音がするまで挿入します。
正しくセットされるとFDイジェクトボタンが出てきます。

● フロッピーディスクの取り出し

- 1 FDイジェクトボタンを押す
フロッピーディスクが少し出てきます。そのまま手で取り出します。

 **注意** ・FDD アクセスランプが緑色に点灯しているときに、FDイジェクトボタンを押さないでください。フロッピーディスク内のデータが壊れることがあります。

5 使用上のお願い

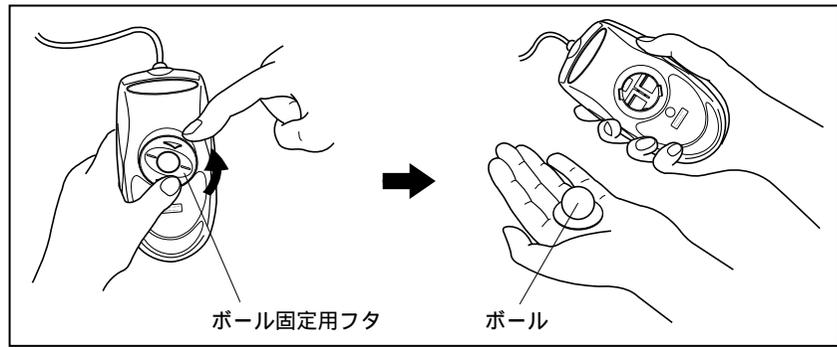
1 連続運転について

長時間の（24 時間を超えるような）連続運転をしないでください。
パソコン本体を使わないときは、パソコン本体の電源を必ず切ってください。また、一時的に使用を中断するときは、パソコン本体前面のスリープスイッチ（Windows NT は使用できません）を押してシステムを省電力モードにしてください。システム、ハードディスク装置、ディスプレイなどを省電力モードにすることができます。
☞「2 章 4 省電力機能について」
長時間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。

2 日常のお手入れと保管・運搬

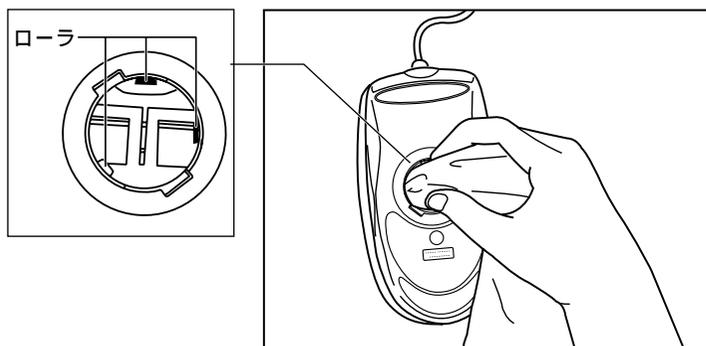
本体の汚れは、やわらかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水を含ませた布で軽く拭き取ってください（ディスプレイ表示画面を除く）。
ベンジンやシンナー、その他の薬品類を使うと変形または変色することがあります。また殺虫剤などをかけないようにしてください。
梱包箱を保管しておくことと輸送などに使用でき便利です。
移動時に落とす、ぶつけるなどの強いショックを与えないようにしてください。誤動作したり、故障することがあります。
フロッピーディスク装置または CD-ROM 装置は、市販のクリーニングディスクを使ってクリーニングしてください。
電源ケーブルのプラグを長期間 AC コンセントに接続したままにすると、プラグやコンセントにほこりがたまることがあります。定期的にはこりを拭き取ってください。
キーボードのキーの下やすきまに入ったほこりやゴミなどは、掃除機などで吸い出してください。
掃除機は、強くかけないでください。キーボードが故障することがあります。
マウスを長時間使用していると、ホコリなどがボールに付着し正常なマウスの動作を妨げ、動作不良の原因となることがあります。
マウスのお手入れは、次の手順で行なってください。

パソコン本体の電源を切ってください。
マウス本体の裏面にあるボール固定用のフタを、矢印方向に回転させてはずし、ボールを取り出します（ネジは、絶対にはずさないでください）。



1 章
電源を入れる前に

マウス内部のローラなどに付着した異物は、乾いた布で取り除いてください。



ボールを、水で洗います（中性洗剤を使用する場合はよくすすぎます）。
乾いた布でボールの水分を拭き取り、十分乾燥させてからマウス本体に取り付け
ます。

ボール固定用のフタを、矢印方向に回転
させて取り付けます。フタは、カチッと
音がするまで回転させてください。



お願い

・ボール固定用のフタ以外は、絶対に分解しないでください。

3 消耗品

内蔵バッテリーの寿命は約3年です。交換の際は、市販のCR2032のリチウム電池を使用してください。

☞ 「4章 11 内蔵バッテリーの交換」

4 妨害電波・電圧について

本装置は VCCI (情報処理装置等電波障害自主規制協議会) 基準に適合している製品ですが、絶対に障害が発生しないということではありません。テレビ、ラジオへの影響がある場合は次のことを試みてください。

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える。
- テレビ、ラジオに対する本装置の方向を変える。
- テレビ、ラジオから離す。
- テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う。
- 受信機に屋外アンテナを使う。
- 平衡フィーダを同軸ケーブルに替える。
- コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてみる。

以上のような対策を行なってみてもまったく効果がない場合は、お近くのサービスステーションへご相談ください。

VCCI マークのついていない周辺機器を接続すると、テレビ、ラジオなどに影響が出ることがありますのでご注意ください。

5 修理・サービスについて

保証期間中および保証期間後の保守サービスについては、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。お近くのサービスステーションまたはお買いあげの販売店にご相談ください。

6 廃棄について

本装置には、リチウム電池を使用しています。リチウム電池の廃棄については、地方自治体の条例、または規則に従ってください。

また、本体を廃棄する場合も同様に地方自治体の条例、または規則に従ってください。

6 接続について

ケーブル類を接続する際には、次のことにご注意ください。

- ・本体および接続する機器の電源を切るか、または電源スイッチをOFFにする
 - ・ケーブル類の取り付け/取りはずしは、必ずコネクタを持って行う
 - ・コネクタの形状に注意して挿入し、コネクタに固定ネジがある場合はしっかりと固定する
 - ・プリンタやメモリ、LANケーブルなど、本体に添付されていない機器は、システムのセットアップが終了してから接続する
- ☞ システムのセットアップについて ☞ 「2章 2 初めて電源を入れるときは」
- ☞ 添付されていない機器の接続について ☞ 「4章 機器の拡張について」

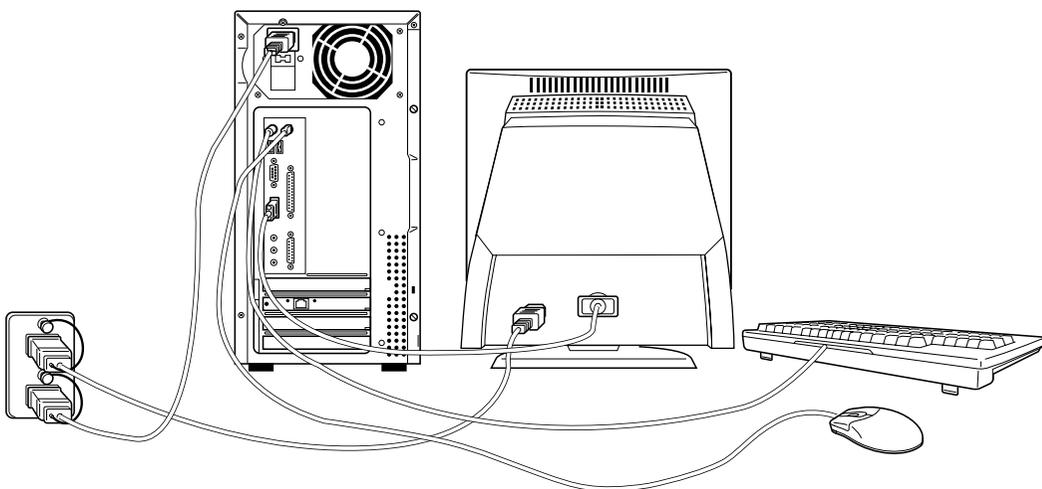


メモ

・USBコネクタ1、USBコネクタ2は、Windows NTモデル上では使用できません。

1 接続完成図

EQUIUM 3110シリーズを接続した例を次に示します。

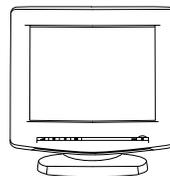
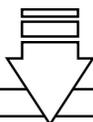


(注) EQUIUM 3110シリーズにディスプレイは同梱されておりません。

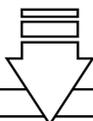
② 接続の順番

付属品を接続する場合は、次に示されている順番に従って、接続を行なってください。

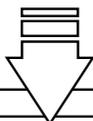
1. ディスプレイ（別売り）を
本体と電源コンセントに



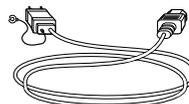
2. キーボードを本体に



3. マウスを本体に



4. 電源コードを本体と電源コンセントに
(注)最後に接続してください。



本装置の付属品を取りはずす場合は、本体の電源を切った後、それぞれの取りはずし方法に従ってください。まず、電源コードを取りはずしてください。その後の順番は関係ありません。

3 ディスプレイ（別売り）の接続

接続の際は、『ディスプレイに付属の説明書』を参照のうえ、作業を行なってください。
ディスプレイは必ず接続してください。



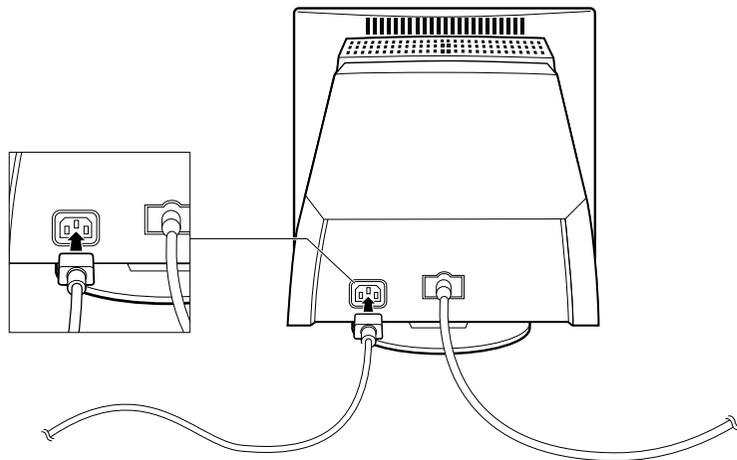
お願い

- ・電源コードは、必ず付属の電源コードをお使いください。
市販の電源コードや他の電気製品の電源コードには、形状が同じでも定格電圧・電流が異なるものがあります。
- ・電源コードのプラグから出ているアース線は、安全のため必ずアース端子に接続してください。万一漏電した場合の感電を防止します。
- ・電源コードを接続する場合は、アース線 プラグの順に行なってください。

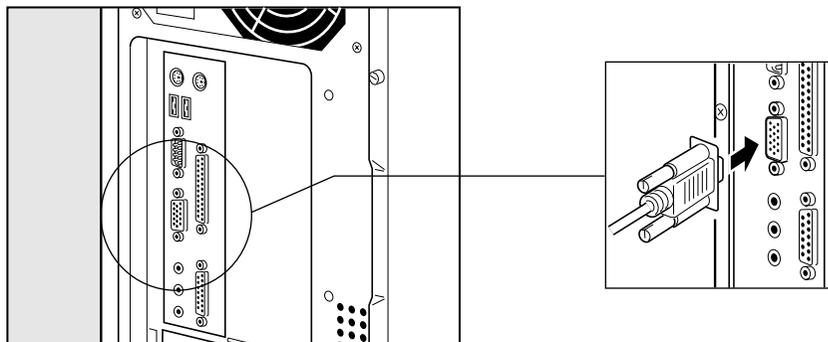
● 取り付け

ここでは別売りの 15 型カラーディスプレイ B (PVCRT15B) の取り付け方法を例に説明します。

- 1 ディスプレイの電源、本体の電源が切断されていることを確認する
- 2 電源コードをディスプレイ背面にある電源コネクタに差し込む



- 3 信号ケーブルコネクタに装着してある保護キャップを取りはずし、信号ケーブルコネクタを本体背面のアナログ RGB コネクタ  に接続し、固定用ネジを手で回して固定する



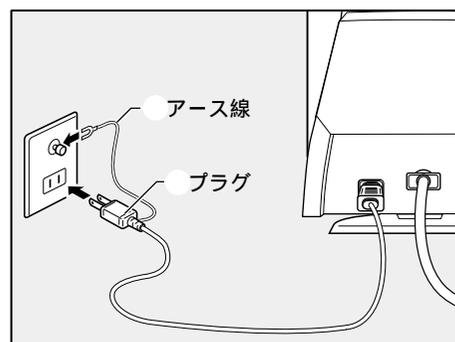


お願い

- ・固定用ネジは、必ず手でまわして固定してください。ドライバなどを使用すると固定用ネジが破損するおそれがあります。
- ・取りはずした保護キャップは大切に保管しておいてください。
- ・ディスプレイを移動する場合は、信号ケーブルコネクタのピン曲りを防止するため、保護キャップを再度取り付けてから移動してください。

4 電源コードのアース線をアース端子に接続する

5 電源コードのプラグを電源コンセント (AC100V) に差し込む



注意 ・AC100V以外のコンセントには差し込まないでください。

● 取りはずし

電源コードを、ディスプレイから取りはずす場合は、ディスプレイの電源と本体の電源が切れていることを確認し、取り付けと逆の手順を行なってください。

電源コードを取りはずす場合は、プラグ アース線の順に行なってください。

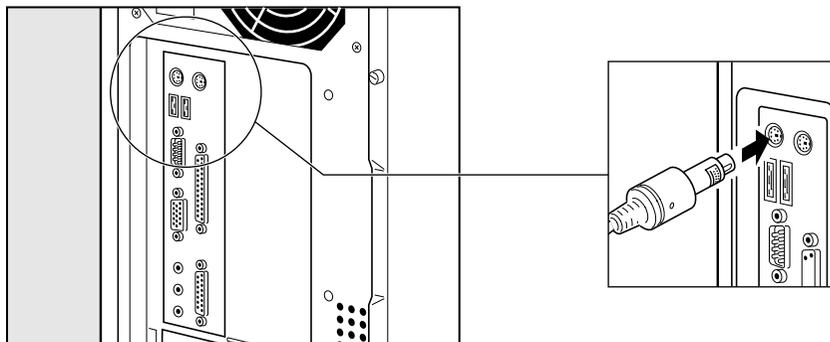


注意 ・信号ケーブルを本体から取りはずす場合は、信号ケーブルコネクタの固定用ネジを手でゆるめ、固定用ネジがディスプレイコネクタから完全にはずれた状態で行なってください。
固定用ネジがディスプレイコネクタに接続された状態で、信号ケーブルに負荷（無理に引っ張るなど）をかけると、信号ケーブルの破損、および、本体の故障の原因となります。

4 キーボードの接続

注意 ・キーボードの接続は、本体の電源が切れている状態で行なってください。
本体の電源が入った状態で接続すると、本体の故障の原因となります。

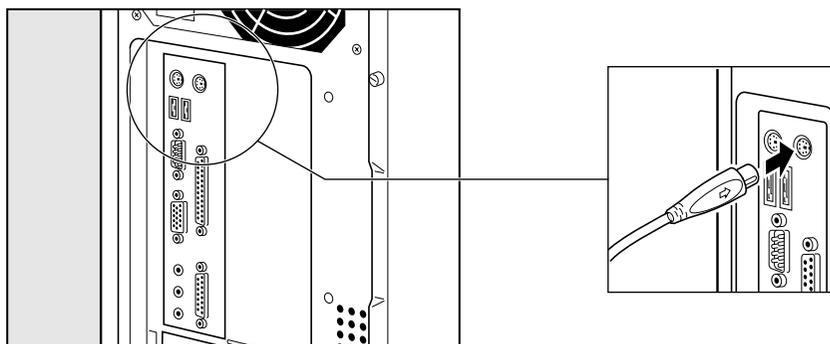
- 1 キーボードのプラグを本体背面のキーボードコネクタ  に差し込む
キーボードは、プラグに刻印されているキーボードマークを右にして、しっかりと奥まで差し込んでください。



5 マウスの接続

注意 ・マウスの接続は、本体の電源が切れている状態で行なってください。
本体の電源が入った状態で接続すると、本体の故障の原因となります。

- 1 マウスのプラグを本体背面のマウスコネクタ  に差し込む
マウスは、プラグに刻印されている矢印マークを右にして、しっかりと奥まで差し込んでください。



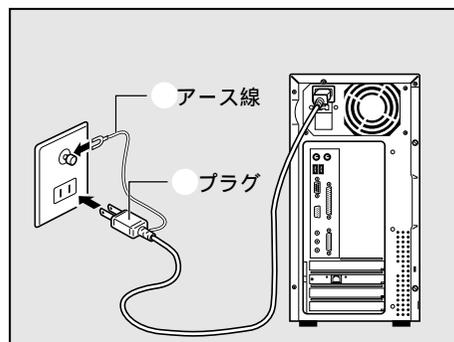
6 電源コードの接続



お願い

- ・電源コードの接続は、最後に行なってください。
- ・電源コードの接続は、アース線 プラグの順に行なってください。取りはずす場合は、取り付けと逆の順番（プラグ アース線）で行なってください。

- 1 ディスプレイの電源スイッチが切断されていることを確認する
- 2 電源コードのプラグを本体背面の電源コネクタに差し込む
- 3 電源コードのアース線をアース端子に接続する
- 4 プラグを電源コンセント（AC100V）に差し込む



- 注意**
- ・電源コードは、付属のアース線付き 2 ピンコードを使用してください。
 - ・アース線は感電を防止するための電線です。コンセントのアース端子に接続しておくと万一漏電した場合の感電を防止します。安全のために必ず接続してください。

1
章

電源を入れる前に

2

電源の入れ方と切り方

本章では、パソコン本体の電源の入れ方と切り方について説明します。

1	電源の入れ方	42
2	初めて電源を入れるときは	43
3	電源の切り方	68
4	省電力機能について	72

1 電源の入れ方

初めて電源を入れた場合は、システムのセットアップが始まります。

☞ セットアップ方法 ☞ 「本章 2 初めて電源を入れるときは」

周辺機器を接続して使用する場合は、本体の電源を入れる前に周辺機器の電源を入れてください。

☞ 周辺機器の電源の入れ方について ☞ 『周辺機器に付属の説明書』



お願い

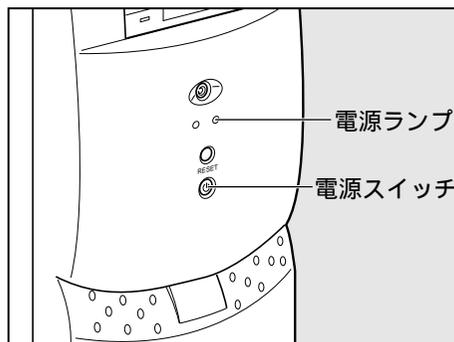
・プリンタやメモリ、LAN ケーブルなど、本体に添付されていない機器は、システムのセットアップが終了してから接続してください。

☞ システムのセットアップについて ☞ 「本章 2 初めて電源を入れるときは」

1 ディスプレイなど接続している周辺機器装置の電源を入れる

2 本体前面の電源スイッチ を押す

電源ランプ（本体前面の緑色のランプ）が点灯します。本装置は自動的に電源 ON 時にセルフテストを実行します。



メモ

・パソコン本体が起動すると、自動的にパソコン内部のテストを行います。これをセルフテストといいます。セルフテストによって、エラーが発見される場合があります。

・フロッピーディスクや起動可能な CD をセットしたまま電源を入れると、ハードディスク装置からシステムが起動しません。

フロッピーディスクや CD を取り出して、再度電源を入れてください。

② 初めて電源を入れるときは

パソコン本体の電源を初めて入れるときは、Windows が使えるようにするために、「Windows セットアップ」という操作が必要です。

1 度 Windows のセットアップをすれば、以降は、電源を入れるとすぐに Windows を使用することができます。

本製品には次のモデルがあります。

- ・ Windows 98 モデル
- ・ Windows 2000 / NT モデル

セットアップ方法については、お客様がお使いになるシステムの手順をご覧ください。



- 注意**
- ・ マウスとキーボードが接続されていることを確認してください。接続していないと、セットアップを行うことができません。
 - ・ メモリやオプションカードを増設していたり、プリンタなどを接続していると、正しくセットアップできない場合があります。増設や接続はシステムのセットアップ終了後に行なってください。
 - ・ セットアップを行うときは、LAN ケーブルは接続しないでください。LAN ケーブルが接続されていると、ネットワークの設定が既定値 (default) のままネットワークに接続してしまうため、ネットワークに障害をもたらす場合があります。
 - ・ システムのセットアップ中は、絶対に電源を切らないでください。
 - ・ やむをえない場合以外は、セットアップ中にキャンセルしないでください。正しくセットアップできない場合があります。



お願い

- ・ 接続が確実にされていることを、再度確認してください。
- ・ セットアップを行わないと、あらかじめインストールされているシステム (Windows 98 / 2000 / NT) やアプリケーションを使用することはできません。
- ・ システムのセットアップ中は、電源を切らないでください。



メモ

- ・ 20 分以上キーを押さない (マウスの操作も含む) 場合、省電力機能がはたらき、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。[Shift] キーを押すか、マウスを動かすと画面に表示されます。また、Windows 98 / 2000 モデルの場合、電源ランプが橙色に点灯しているとき (スタンバイモード) は、スリープスイッチを押すと画面に表示されます。
- ・ Windows 98 / 2000 モデルの場合、起動に時間がかかることがあります。これは出荷時に LAN の設定がされているためであり、故障ではありません。
☞ 回避方法 ☞ セットアップ終了後、[スタート] メニュー - [はじめに] - [リリース情報]
- ・ カスタム・リカバリ CD やリカバリ CD で購入時の状態に戻した場合にも、システムセットアップの作業が必要です。

1 Windows 98 のセットアップ

Windows 98 のセットアップでは次のことを行います。

ユーザー情報の登録

名前とふりがな（省略可能）を登録します。

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書（Windows のライセンス）への同意
マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、[同意する] を選択しないと、Windows を使用することはできません。

日付と時刻の設定

[日付と時刻のプロパティ] 画面の [日付と時刻] タブで、パソコンの日付と時刻を設定します。セットアップ後に変更することが可能です。



お願い

・ Product Key がパソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。

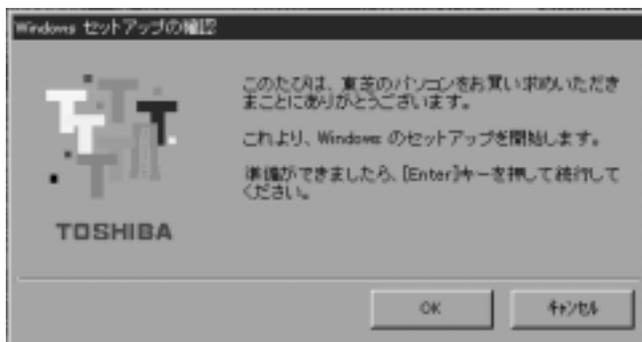
Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルは、はがしたり傷つけたりなどして、絶対になくさないでください。再発行はできません。

紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

● セットアップの操作手順

次の手順に従ってセットアップを行なってください。

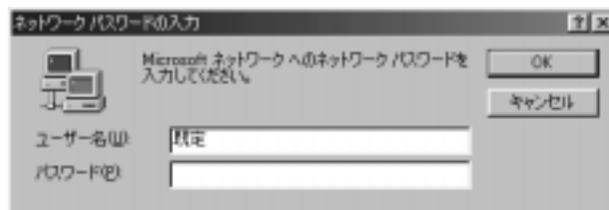
初めて電源を入れると、[Windows セットアップの確認] 画面が表示されます。



1 [Enter] キーを押す

Windows のセットアップが開始されます。

パソコンが再起動し、[ネットワークパスワードの入力] 画面が表示されます。



2 ユーザー名を入力する

[Shift] + [Tab] キーを押すと、カーソルがユーザー名に移動します。

[Delete] キーを押して「既定」を削除します。

ユーザー名はひらがな、漢字、半角英数文字が使用できます。

ひらがなや漢字を入力するには、MS-IME を起動します。MS-IME とは、かなや漢字を入力するための日本語入力システムです。[Alt] キーを押したまま、[半角/全角] キーを押してください。



メモ

・ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 [N][A][K][A][T][A] とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、[BackSpace] キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、[Enter] キーを押す

“なかた”で確定されます。

漢字に変換する場合は、[Space] キーを押し、目的の漢字が表示されたら、[Enter] キーを押す

[Space] キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。[Enter] キーを押すと、選択した漢字で確定します。

3 パスワードを入力する

ユーザー名の入力が終わった後、**[Tab]** キーを押します。

パスワードには次の文字（半角英数文字）が使用できます。4～8文字を目安に設定してください。ひらがなや漢字は入力できません。

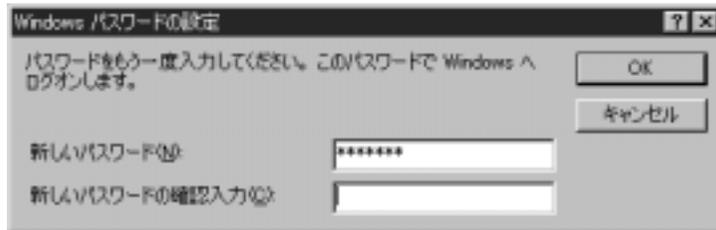
使用できる文字	アルファベット（半角）	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
	数字（半角）	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号（単独のキーで入力できる文字の一部）	- ^ @ [] ; : , . / （スペース）
使用できない文字	<ul style="list-style-type: none">・全角文字（2バイト文字）・日本語入力システムの起動が必要な文字 【例】漢字、カタカナ、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号 など・単独のキーで入力できない（入力するときに[Shift]キーなどを使用する）文字 【例】 （バーチカルライン）、&（アンド）、（チルダ）など・¥（エン）  キーや  キーを押すと¥が入力されます。	

入力したパスワードは「****」で表示されます。

パスワードは間違いのないように入力してください。入力ミスをした場合は、

[BackSpace] キーを押して入力ミスした文字を削除します。パスワードの入力が終わったら、**[OK]** ボタンをクリックします。

[Windows パスワードの設定] 画面が表示されます。



- 4** 登録したパスワードをもう一度入力し、[OK] ボタンをクリックする
[ようこそ] 画面が表示されます。



入力したパスワードが間違っている場合は、メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてメッセージを消した後、パスワードをもう一度入力し直してください。



メモ

・登録したパスワードを正しく入力できない場合

- 1 [Delete] キーで [新しいパスワードの確認入力] のパスワードをすべて削除する
- 2 [Shift] キーと [Tab] キーを同時に押す
カーソルが [新しいパスワード] に戻ります。
- 3 [Delete] キーを押して、いったんパスワードをすべて削除する
- 4 新しいパスワードを入力する
- 5 [Tab] キーを押す
- 6 [新しいパスワードの確認入力] に同じパスワードを入力する
- 7 [OK] ボタンをクリックする

- 5** [Esc] キーを押す

MS-IME のチュートリアルに進み、入力の練習を行う場合は [M] キーを押してください。入力の練習を行わなかった場合、または練習が終了したあとに、[Windows 98 へようこそ] 画面が表示されます。



6 名前とふりがなを入力する

名前は必ず入力してください。ふりがなは省略できます。ふりがなを入力するには、名前を入力した後、**[Tab]**キーを押します。

ひらがなや漢字を入力するには、日本語入力システム (MS-IME) を起動します。**[Alt]**キーを押したまま、**[半角/全角]**キーを押してください。

7 [次へ] ボタンをクリックする

[Windows ユーザー使用許諾契約] 画面が表示されます。



契約内容を、必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、**[]** ボタンをクリックするか、**[PageUp]**キー、**[PageDown]**キーを使って画面を動かしてください。

なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

8 画面の [同意する] をチェック (左側の をクリック) して、[次へ] ボタンをクリックする

[セットアップの完了] 画面が表示されます。



9 [完了]ボタンをクリックする

[日付と時刻のプロパティ]画面が表示されます。

**10** [日付]と[時刻]が正しく設定されているか確認する

正しく設定されていない場合は設定してください。設定後、[適用]ボタンをクリックすると、日付および時刻の設定が確定され、パソコンの時計が動作します。

11 [タイムゾーン]で「(GMT+09:00)東京、大阪、札幌」が選択されていることを確認する

「(GMT+09:00)東京、大阪、札幌」が選択されていない場合は、ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

12 [閉じる]ボタンをクリックする

[日付][時刻][タイムゾーン]を変更した場合は、[OK]ボタンをクリックしてください。Windowsのセットアップが終了します。



メモ

・ 東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。

☞ ユーザ登録 ☞ 「本節 4 ユーザ登録をする」

Windows の使い方

Windows の使い方については、同梱されている『ファーストステップガイド Microsoft Windows 98 SECOND EDITION』をご覧ください。

② Windows 2000 のセットアップ

Windows 2000 / NT モデルでは、Windows 2000 または Windows NT のいずれかを選択することができます。

セットアップ方法についてはお客様がお使いになりたい方の手順をご覧ください。

また、どちらかのインストールを開始すると、選択されなかったシステムは削除されますので、ご使用になれません。

Windows 2000 のセットアップでは、次のことを行います。

マイクロソフトソフトウェア 使用許諾契約書 (Windows のライセンス) への同意
マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかどうかを選択してください。なお、[同意する] を選択しないと、Windows を使用することはできません。

ユーザー情報の登録

名前、会社名または組織名 (省略可能) を登録します。

コンピュータ名の指定

使用するコンピュータ名と Administrator のパスワードを入力します。

コンピュータ名の付け方に関しては、必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

日付と時刻の設定

[日付と時刻の設定] 画面でパソコンの日付を時刻を設定します。セットアップ後に変更することが可能です。

ネットワークの設定

ワークグループまたはドメイン名の設定を行います。

ネットワークの設定は、必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。



お願い

- ・プロダクトキーが、パソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。
Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルは、はがしたり傷つけたりなどして、絶対になくさないでください。再発行はできません。
紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。
- ・システム (OS) 選択画面から Windows 2000 を選択すると、自動的に再起動します。このときセットアップイメージが正しいかを確認するために、「CHKDSK」が実行されます。ファイルシステムの異常が検出されたわけではありませんので、問題なくご使用いただけます。

● セットアップの操作手順

次の手順に従ってセットアップを行なってください。

初めて電源を入れると、システムの選択画面が表示されます。

1 [Windows 2000] を選択し、[Enter] キーを押す

キーで選択し、[Enter] キーで確定します。

[Enter] キーを押すと、確認画面が表示されます。

2 [Windows 2000] と表示してあることを確認し、[F8] キーを押す



メモ

・ Windows NT に変更したい場合は、[F8] 以外のキーを押してください。

1つ前の画面に戻ります。その後、Windows NT のセットアップの手順に従ってください。

☞ Windows NT のセットアップについて ☞ 「本節 4 Windows NT のセットアップ」

3 セットアップ終了のメッセージが表示されたら [Enter] キーを押す

パソコンが再起動し、[Windows 2000 セットアップウィザードの開始] 画面が表示されます。

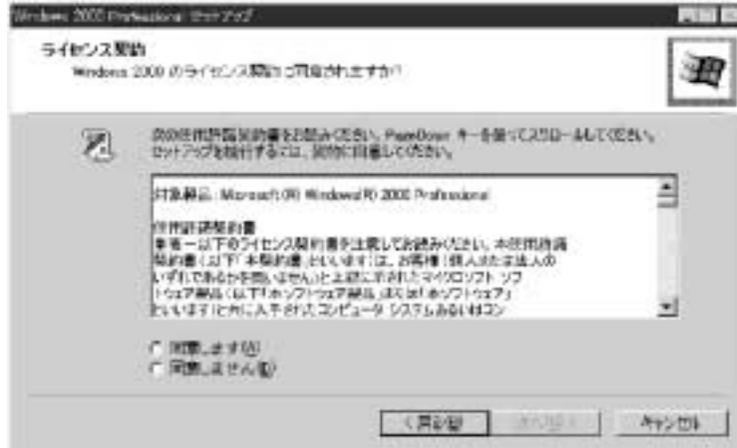


4 [次へ] ボタンをクリックする

[ライセンス契約] の画面が表示されます。

契約の内容を必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、 [次へ] ボタンをクリックするか [PageUp] キー、 [PageDown] キーを使って、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。



5 画面下部の [同意します] をチェックして [次へ] ボタンをクリックする



メモ

・[同意しません] を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

[ソフトウェアの個人用設定] の画面が表示されます。



6 名前と組織名を入力する

名前は必ず入力してください。組織名は省略できます。組織名を入力するには、名前の入力後 **Tab** キーを押します。



メモ

・日本語入力システムが起動しています。

ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかつ”または“中田”と入力する場合

1 **N** **A** **K** **A** **T** **A** とキーを押す

“なかつ”と表示されます。入力ミスをした場合は、**BackSpace** キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、**Enter** キーを押す

“なかつ”で確定されます。

漢字に変換する場合は **Space** キーを押し、目的の漢字が表示されたら、**Enter** キーを押す

Space キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。**Enter** キーを押すと、選択した漢字で確定します。

7 [次へ] ボタンをクリックする

[コンピュータ名と Administrator のパスワード] の画面が表示されます。



8 コンピュータ名と Administrator のパスワードを入力する

コンピュータ名の付け方に関しては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Administrator と呼ばれるユーザ名を作成します。コンピュータにフルアクセスする場合に使用します。



お願い

・パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。

例えば、「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

- 9** [次へ] ボタンをクリックする
[日付と時刻の設定] 画面が表示されます。



- 10** [日付と時刻] の設定をする

日付と時刻を確認します。

タイムゾーンで「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選択されていることを確認します。「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選択されていない場合は ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

- 11** [次へ] ボタンをクリックする
[ネットワークの設定] 画面が表示されます。



- 12** ネットワークの設定をする

ネットワークの設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。
標準設定またはカスタム設定のどちらかを選択してください。



メモ

- 標準設定：Microsoft ネットワーククライアント、Microsoft ネットワークのファイルとプリンタの共有サービス、アドレスを自動的に指定する TCP/IP トランスポートプロトコルを使ってネットワーク接続を作成します。
- カスタム設定：手でネットワークコンポーネントを構成することができます。

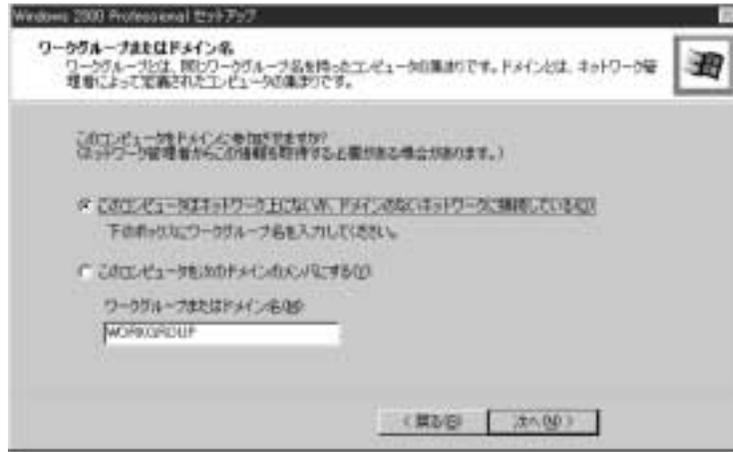


お願い

- お使いのネットワーク環境によって設定が異なりますので、ネットワークの設定は必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

13 [次へ] ボタンをクリックする

[ワークグループまたはドメイン名] 画面が表示されます。

**14** ワークグループまたはドメイン名の設定をする

ワークグループまたはドメイン名の設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。ワークグループまたはドメインのどちらかを選択してください。

選択後、[ワークグループまたはドメイン名] にワークグループ (ドメイン) 名を入力してください。



お願い

・お使いのネットワーク環境によって設定、およびワークグループ (ドメイン) 名が異なります。必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

15 [次へ] ボタンをクリックする

設定の保存後、[Windows 2000 セットアップウィザードの完了] 画面が表示されます。



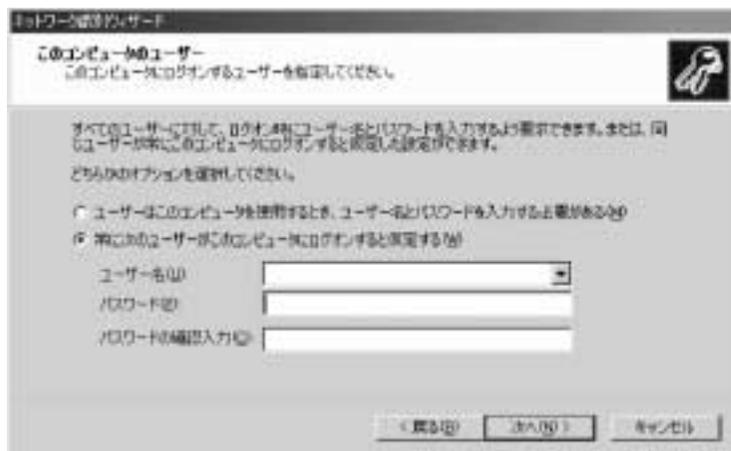
16 [完了] ボタンをクリックする

再起動します。再起動後に [ネットワーク識別ウィザードの開始] 画面が表示されます。ここで、コンピュータをネットワークに接続する手続きをします。



17 [次へ] ボタンをクリックする

[このコンピュータのユーザー] 画面が表示されます。



18 ユーザの設定をする

このコンピュータで使用するユーザを指定します。

「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」

..... 指定したユーザでパスワードを入力してからログオンします。

「常に次のユーザーがコンピュータにログオンすると仮定する」

..... 指定したユーザで自動的にログオンします。

ここで指定できるユーザは手順 6 で入力した名前、あるいは Administrator です。

ボタンをクリックして選択してください。

19 [次へ] ボタンをクリックする

[ネットワーク識別ウィザードの終了] 画面が表示されます。

**20** [完了] ボタンをクリックする

Windows 2000 のセットアップを完了しました。

手順 18 で「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき...」を選択した場合、[Windows へログオン] 画面が表示されます。Administrator のパスワードを入力して [OK] ボタンをクリックすると、Administrator でログオンし、[Windows 2000 の紹介] 画面が表示されます。

手順 18 で「常に次のユーザーがコンピュータに...」を選択した場合、指定されたユーザー (Administrator または例: 中田) で自動的にログオンし、[Windows 2000 の紹介] 画面が表示されます。





メモ

- ・ [Windows 2000 の紹介] の下部にあるチェックボックス ([スタートアップ時にこの画面を表示]) をクリックしてチェックを解除すると、次に Windows 2000 が起動したときは [Windows 2000 の紹介] は表示されません。
 - ☞ [Windows 2000 の紹介] 画面を再表示する方法 ☞ 『Windows 2000 のヘルプ』
- ・ 出荷状態では、次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。
 - C ドライブ : 約 4GB、NTFS システムハードディスクの残りの領域をお使いになる場合は、ディスクの管理を使用して、パーティションの作成やフォーマットを行なってください。
 - 「ディスクの管理」の詳細は、Windows 2000 のヘルプをご覧ください。
- ・ 東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。
 - ☞ ユーザ登録 ☞ 「本節 4 ユーザ登録をする」

● Windows の使い方

Windows の使い方については、『マイクロソフト ウィンドウズ 2000 プロフェッショナル クイックスタートガイド』、または [スタート] - [ヘルプ] をクリックして、『Windows のヘルプ』をご覧ください。

3 Windows NT のセットアップ

Windows 2000 / NT モデルでは、Windows 2000 または Windows NT のいずれかを選択することができます。

セットアップ方法についてはお客様がお使いになりたい方の手順をご覧ください。

また、どちらかのインストールを開始すると、選択されなかったシステムは削除されますので、ご使用になれません。

Windows NT のセットアップでは、次のことを行います。

ユーザー情報の登録

名前と組織名（省略可能）を登録します。

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書（Windows のライセンス）への同意
マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、[同意する] を選択しないと、Windows を使用することはできません。

Windows NT のセットアップでは、その他に、ネットワーク上でパソコンを個別に認識するためにコンピュータ名の登録を行います。

セットアップ終了後に、Administrator パスワードの設定と、システム修復ディスクの作成を行なってください。

☞ 「本項 Administrator パスワードの設定 / 変更」

☞ 「本項 システム修復ディスクの作成」

セットアップ終了後に、[コントロールパネル] - [日付と時刻のプロパティ] 画面の [日付と時刻] タブで、パソコンの日付と時刻の設定を行なってください。



お願い

- ・プロダクト ID がパソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。
Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルは、はがしたり傷つけたりなどして、絶対になくさないでください。再発行はできません。
紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。
- ・Windows NT のセットアップ完了後、2 回目の再起動時に、セットアップイメージが正しいかを確認するために、「CHKDSK」が実行されます。
ファイルシステムの異常が検出されたわけではありませんので、問題なくご使用いただけます。

● セットアップの操作手順

次の手順に従ってセットアップを行なってください。
初めて電源を入れると、システムの選択画面が表示されます。

- 1 [Windows NT] を選択し、[Enter] キーを押す
 キーで選択し、[Enter] キーで確定します。
[Enter] キーを押すと、確認画面が表示されます。

- 2 [Windows NT] と表示してあることを確認し、[F8] キーを押す



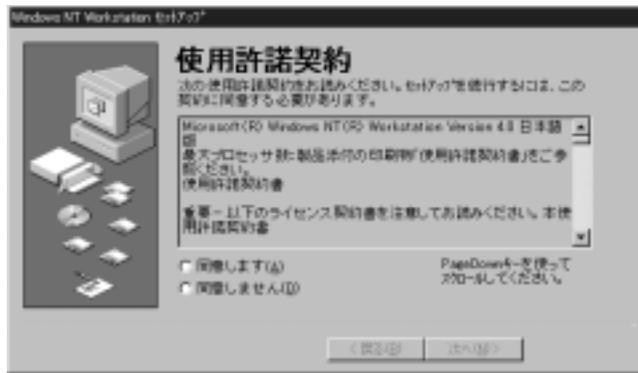
お願い

・Windows 2000に変更したい場合は、[F8] 以外のキーを押してください。
1つ前の画面に戻ります。その後、Windows 2000のセットアップの手順に従ってください。
☞ Windows 2000のセットアップについて ☞ 「本節 2 Windows 2000のセットアップ」

- 3 セットアップ終了のメッセージが表示されたら [Enter] キーを押す
パソコンが再起動し、[Windows NT セットアップ] 画面が表示されます。



- 4 [次へ] ボタンをクリックする
[使用許諾契約] 画面が表示されます。



マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書の内容を必ずお読みください。
表示されていない部分を見るには、 ボタンをクリックするか [PageUp] キー、[PageDown] キーを使って、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

5 画面下部の [同意します] をチェック (左側の をクリック) して [次へ] ボタンをクリックする



・ [同意しません] を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

[名前と組織名] 画面が表示されます。



6 名前と組織名を入力する

名前は必ず入力してください。組織名は省略できます。組織名を入力するには、名前の入力後 **Tab** キーを押します。



・ 日本語入力システムが起動しています。

ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 **N A K A T A** とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、**BackSpace** キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、**Enter** キーを押す

“なかた”で確定されます。

漢字に変換する場合は **Space** キーを押し、目的の漢字が表示されたら、**Enter** キーを押す

Space キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。**Enter** キーを押すと、選択した漢字で確定します。

7 [次へ] ボタンをクリックする

[コンピュータ名] 画面が表示されます。



8 コンピュータ名を入力する

コンピュータ名の付け方に関しては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



お願い

・コンピュータ名を変更する場合は、セットアップ終了後に Administrator 権限でログオンし、[コントロールパネル]の[ネットワーク]を起動して変更してください。

9 [次へ] ボタンをクリックする

[セットアップは終了しました]画面が表示されます。



10 [完了] ボタンをクリックする

Windows NTのセットアップが完了しました。

パソコンが再起動し、[ようこそ]画面が表示されます。



この画面の [新機能の説明] [次のヒント]などのボタンをクリックすることにより Windows NT の概要を知ることができます。

Windows NT をはじめてご使用になる場合は、必ずお読みください。



お願い

・セットアップ終了後 [コントロールパネル]の[日付と時刻のプロパティ]画面の[日付と時刻]タブで現在の日付と時刻の設定を確認してください。



メモ

- ・[ようこそ]の下部にあるチェックボックス([Windows NTを次に起動するときも、このダイアログを表示する])をクリックしてチェックを解除すると、次にWindows NTが起動したときは[ようこそ]は表示されません。
ただし、初期セットアップ完了後の最初のログオン時には、このチェックボックスは表示されません。
☞ [ようこそ]画面を再表示する方法 ☞ 『Windows NTのヘルプ』
- ・出荷状態では、次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。
Cドライブ: 約4GB、NTFSシステム
ハードディスクの残りの領域をお使いになる場合は、ディスクアドミニストレータを使用して、パーティションの作成やフォーマットを行なってください。
「ディスクアドミニストレータ」の詳細は、Windows NTのヘルプをご覧ください。
- ・東芝とMicrosoft社へのユーザ登録を行なってください。
☞ ユーザ登録 ☞ 「本節 4 ユーザ登録をする」

Windows の使い方

Windows の使い方については、『ファーストステップガイド Microsoft Windows NT Workstation』または、[スタート]-[ヘルプ]をクリックして、『Windows のヘルプ』をご覧ください。

Administrator パスワードの設定 / 変更

セットアップ直後の初期状態では、Administrator のパスワードは設定されていません。次の手順に従って、パスワードを設定してください。

セットアップ作業から継続している方は、手順 1 と 4 は必要ありません。



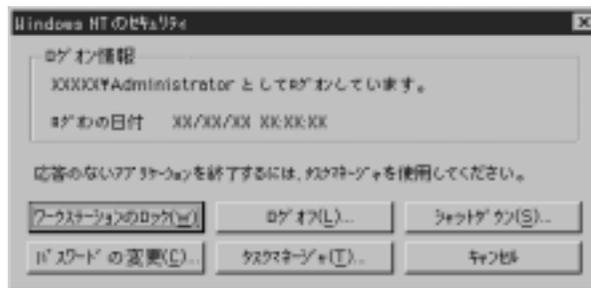
お願い

- ・パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。
例えば、「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

1 Administrator でログオンする

2 [Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを押す

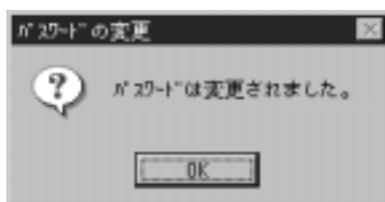
[Windows NT のセキュリティ]画面が表示されます。



- 3** [パスワードの変更] ボタンをクリックする
[パスワードの変更] 画面が表示されます。



- 4** [古いパスワード] ボックスに、現在使用しているパスワードを入力する
初期設定ではパスワードが設定されていないので、空欄のままにしておいてください。
入力したパスワードは* (アスタリスク) で表示されます。
- 5** [新しいパスワード] ボックスに、新しく設定するパスワードを入力する
入力したパスワードは* (アスタリスク) で表示されます。
- 6** [新しいパスワードの確認入力] ボックスに、同じパスワードを入力する
入力したパスワードは* (アスタリスク) で表示されます。
- 7** [OK] ボタンをクリックする
パスワードが正しく設定されると、次の画面が表示されます。



- 8** [OK] ボタンをクリックする
[Windows NTのセキュリティ] 画面に戻ります。
- 9** [キャンセル] ボタンをクリックする
新しいパスワードは、次回のログオンから有効になります。

システム修復ディスクの作成

システム修復ディスクを作成しておくことで、システムファイルが破損した場合に、セットアップが完了した直後の状態にシステムを復元することができます。

2HD形式 / 1.44MB でフォーマット済みのフロッピーディスクを 1 枚ご用意ください。

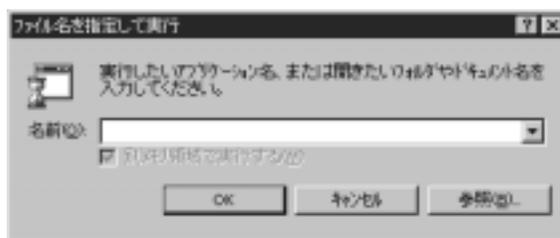


お願い

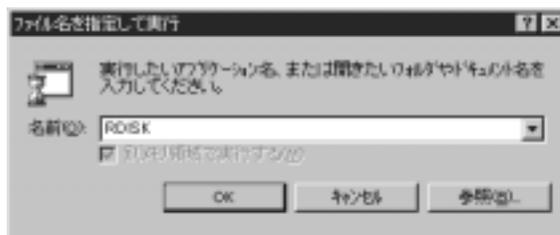
・システム修復ディスクを作成すると、フロッピーディスクに入っているデータはすべて消えてしまいます。作業の前に、フロッピーディスクに何も保存していないことをご確認ください。

1 [スタート] ボタンをクリックして、[ファイル名を指定して実行] をクリックする

[ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスが表示されます。

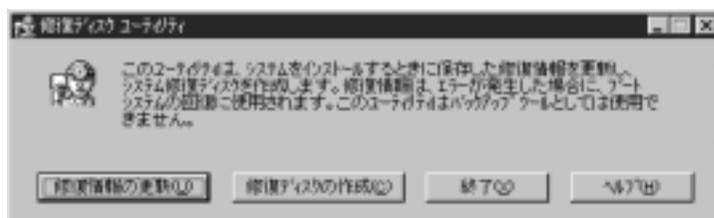


2 [名前] ボックスに「RDISK」と入力する



3 [OK] ボタンをクリックする

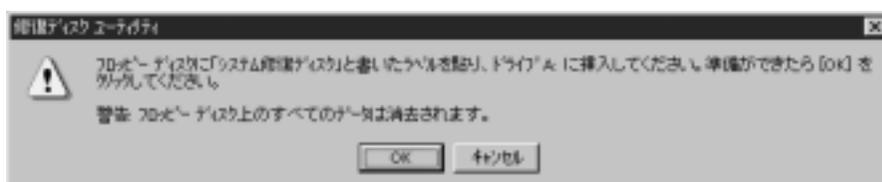
[修復ディスクユーティリティ] 画面が表示されます。



システム修復ディスクの詳細については、[ヘルプ] ボタンをクリックして、ヘルプをご覧ください。

4 [修復ディスクの作成] ボタンをクリックする

次のメッセージが表示されます。



5 2HD 形式 / 1.44MB フォーマットのフロッピーディスクをフロッピーディスク装置にセットする

6 [OK] ボタンをクリックする

システム修復ディスクの作成が始まります。

システム修復ディスクの作成が終了すると、次のメッセージが表示されます。



7 [OK] ボタンをクリックする

[修復ディスクユーティリティ] 画面に戻ります。

8 [終了] ボタンをクリックする

9 フロッピーディスク装置から、システム修復ディスクを取り出す

システム修復ディスクは、分かりやすいようにラベルなどを貼り、大切に保管してください。

☞ システム修復ディスクについて

☞ 『システム修復ユーティリティのヘルプ』、『Windows NT のヘルプ』

4 ユーザ登録をする

東芝へのユーザ登録および Microsoft 社へのユーザ登録は必ず行なってください。登録はそれぞれ行う必要があります。登録を行わないと、今後のサポートを受けられない場合があります。いずれもインターネットで登録する場合は、モデムが必要です。

● 東芝へのユ - ザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。インターネットをご利用になるには、プロバイダとの契約が必要です。

インターネットをご利用になる場合

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のアドレスを入力し、表示された画面から登録を行う

<http://www5.toshiba.co.jp/tpmc/nkhh.htm>

● Microsoft 社へのユ - ザ登録

同梱されている登録はがきで登録できます。

また、Windows 98 / 2000 の場合、インターネットでも登録できます。インターネットをご利用になるには、プロバイダとの契約が必要です。

インターネットで登録する場合

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のように登録します。

Windows 98 の場合

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[Windows へようこそ]で[今すぐ登録]をクリックする

Windows 2000 の場合

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[はじめに]で[今すぐ登録]をクリックする

3 電源の切り方

電源を切る方法は Windows 98、Windows 2000、Windows NT で異なります。お使いのシステムを確認のうえ、電源を切ってください。

● 電源切断時のお願い

! 注意 ・Windows 2000 / NT をお使いの場合は、電源スイッチで電源を切らないでください。作業中に電源スイッチで電源を切ると、故障やデータ消失の原因になります。なお、システムの異常などで強制的に電源を切りたい場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けると電源が切れます。その際、データは消失する可能性があります。

- 電源を切ったあと、再度電源を入れる場合は、5秒以上たってから入れてください。5秒以上経過していない場合は、誤動作することがあります。
- アプリケーションソフトが起動しているときは、終了処理を行なってシステムに戻してください
☞『各アプリケーションソフトに付属の説明書』

1 Windows 98 の電源の切り方

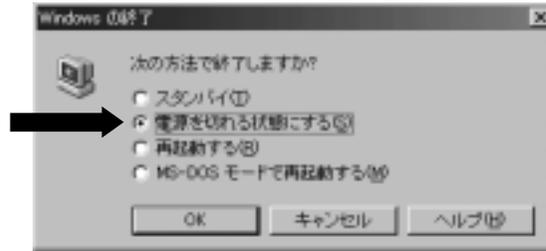
1 HDD アクセスランプ、FDD アクセスランプ、CD-ROM アクセスランプが消えていることを確認する

フロッピーディスクや CD-ROM がセットされている場合は、イジェクトボタンを押して取り出してください。

2 [スタート] ボタンをクリックし①、[Windows の終了] をクリックする② [スタート] メニューの項目は、あらかじめインストールされているアプリケーションやお客様の設定により異なる場合があります。



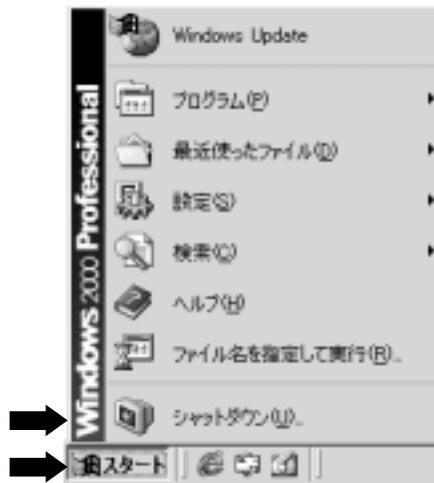
- 3** [電源を切れる状態にする] が選択されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックする



- 4** ディスプレイなど、本装置に接続している周辺機器の電源を切る

2 Windows 2000 の電源の切り方

- 1** HDD アクセスランプ、FDD アクセスランプ、CD-ROM アクセスランプが消えていることを確認する
フロッピーディスクやCD-ROM がセットされている場合は、イジェクトボタンを押して取り出してください。
- 2** [スタート] ボタンをクリックし、[シャットダウン] をクリックする
[スタート] メニューの項目は、あらかじめインストールされているアプリケーションやお客様の設定により、異なる場合があります。



- 3** [Windows のシャットダウン] 画面で、ドロップダウンリストから [シャットダウン] を選択し、[OK] ボタンをクリックする



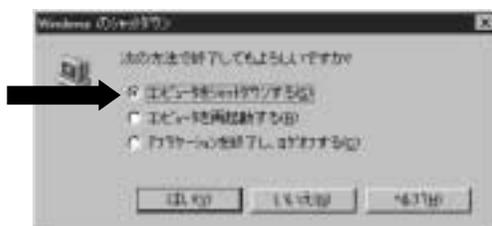
- 4** ディスプレイなど、本装置に接続している周辺機器の電源を切る

③ Windows NT の電源の切り方

- 1** HDD アクセスランプ、FDD アクセスランプ、CD-ROM アクセスランプが消えていることを確認する
フロッピーディスクやCD-ROM がセットされている場合は、イジェクトボタンを押して取り出してください。
- 2** [スタート] ボタンをクリックし、[シャットダウン] をクリックする
[スタート] メニューの項目は、あらかじめインストールされているアプリケーションやお客様の設定により異なる場合があります。



- 3** [Windows のシャットダウン] ダイアログボックスで [コンピュータをシャットダウンする] が選択されていることを確認し、[はい] ボタンをクリックする



! 注意 ・上記の方法で電源を切るには、東芝ソフトウェアパワーオフが正しくインストールされている必要があります。なお、本製品をお買い求めいただいた初期インストール環境では、インストール済みです。
なお、この方法は、「Windows NT 4.0 Service Pack 6」のみ動作を保証します。

東芝ソフトウェアパワーオフの再インストールについては、アプリケーション CD-ROM を CD-ROM 装置にセットし、Autorun 機能により表示される初期画面をご覧ください。

- 4** ディスプレイなど、本装置に接続している周辺機器の電源を切る

4 省電力機能について

1 省電力機能について

省電力機能とは、パソコンのシステム、ハードディスク装置、ディスプレイなどを省電力モードにして消費電力を抑制する機能です。



・省電力モードでも一定の電力を消費しています。長時間使用しない場合は、1度省電力状態を解除してから Windows 98 / 2000 を終了してください。

省電力モード中は、次の状態になります。

	本体の電源ランプ	ディスプレイの電源表示ランプ	システム／アプリケーション
システムが省電力モードのとき	橙色に点灯	橙色に点灯	停止する
ディスプレイ装置が省電力モードのとき	緑色に点灯	橙色に点灯	停止しない
ハードディスク装置が省電力モードのとき	緑色に点灯	緑色に点灯	停止する

本装置にあらかじめインストールされている Windows 98 / 2000 には、省電力機能が用意されています。設定されている情報に従って、省電力機能を作動させることができます。ここでは、本装置と Windows 98 / 2000 の省電力機能について簡単に紹介します。



・Windows NT には省電力機能はありません。

メモ

2 省電力モードについて

本装置にある省電力モードとその動作は次のとおりです。

ディスプレイ装置	画面表示が消えます。
ハードディスク装置	モータの回転を停止します。
オプションカード	停止します。 (*カードによっては本装置を再起動するなどして初期化が必要になります。)
LAN接続 (ネットワークへの接続)	切断します。



・マウスまたはキーボード入力で通常モードに戻すには、BIOS セットアップの「POWER MANAGEMENT SETUP」の「Keyboard & PS/2 Mouse Access」の設定が「Monitor」になっていることが必要です。

☞ BIOS セットアップについて ☞ 「5章 BIOS セットアップについて」

・増設するオプションカードや USB 機器によっては正常にスタンバイ状態に移行しない、またはスタンバイ状態から通常モードへ復帰しない場合があります。動作に問題が生じる場合は、BIOS セットアップの「POWER MANAGEMENT SETUP」の「ACPI Standby State」を「S1/POS」に設定してください。

☞ BIOS セットアップについて ☞ 「5章 BIOS セットアップについて」

● 休止状態 (Windows 2000)

本装置の消費電力を最小限に抑制します。休止状態に移行する直前の状態をハードディスクに保存します。通常モードへ復帰するとき、休止状態に移行する直前の状態を再現します。通常モードへの復帰は、多少時間がかかります。休止状態を実行するには、あらかじめ設定が必要です。

● スタンバイ (Windows 98 / 2000)

本装置の消費電力を抑制します。通常モードへの復帰は、多少時間がかかります。また、ネットワークに接続していない場合は時間がかかることがあります。

3 省電力機能を作動させるには

● Windows 98

設定された時間内にマウスまたはキーボードでの操作がない場合、自動的に省電力モード (スタンバイ) に移行します。スタンバイモードに移行するまでの時間の設定方法は、次のとおりです。

● システムの省電力機能

- 1 [コントロールパネル] を開き、[電源の管理] アイコンをダブルクリックする
- 2 [電源管理のプロパティ] の [電源設定] タブの [システムスタンバイ] で時間を選択する

初期値は 25 分です。



・システムをスタンバイモードにすると、LAN 接続は切断され、取り付けられているオプションカードの動作は停止します。

手でシステムのスタンバイモードを作動させることもできます。操作方法は次のとおりです。

スリープスイッチを押す

スリープボタンを押してスタンバイモードを作動させるには、[コントロールパネル] の [電源の管理] の [詳細] タブにある [コンピュータのスリープボタンを押したとき] で [スタンバイ] に設定しておいてください。

[スタート] メニューからの実行

[スタート] ボタンをクリックし、[Windows の終了] をクリックする
[スタンバイ] をクリックし、[OK] ボタンをクリックする

電源スイッチを押す

電源スイッチを押してスタンバイモードを作動させるには、[コントロールパネル] の [電源の管理] の [詳細] タブにある [コンピュータの電源ボタンを押したとき] で [スタンバイ] に設定しておいてください。

● ディスプレイ装置の省電力機能

- 1 [コントロールパネル]を開き、[電源の管理]アイコンをダブルクリックする
- 2 [電源の管理プロパティ]の[電源設定]タブの[モニタの電源を切る]で時間を選択する
初期値は15分です。

● ハードディスク装置の省電力機能

- 1 [コントロールパネル]を開き、[電源の管理]アイコンをダブルクリックする
- 2 [電源の管理プロパティ]の[電源設定]タブの[ハードディスクの電源を切る]で時間を選択する
初期値は20分です。

● Windows 2000

設定された時間内にマウスまたはキーボードでの操作がない場合、自動的に省電力モードに移行します。

省電力モードに移行するまでの時間の設定方法は、次のとおりです。

● システムの省電力機能

Windows 2000のシステムの省電力機能には、スタンバイモードと休止状態があります。

スタンバイモード

- 1 [コントロールパネル]を開き、[電源オプション]アイコンをダブルクリックする
- 2 [電源オプションのプロパティ]の[電源設定]タブの[システムスタンバイ]で時間を選択する
初期値は25分です。



・システムをスタンバイモードにすると、LAN接続は切断され、取り付けられているオプションカードの動作は停止します。

手動でシステムのスタンバイモードを作動させることもできます。

操作方法は次のとおりです。

スリープスイッチを押す

スリープボタンを押してスタンバイモードを作動させるには、[コントロールパネル]の[電源オプション]の[詳細]タブにある[コンピュータのスリープボタンを押したとき]で[スタンバイ]に設定しておいてください。

[スタート]メニューからの実行

[スタート]ボタンをクリックし、[シャットダウン]をクリックする

[スタンバイ]をクリックし、[OK]ボタンをクリックする

電源スイッチを押す

電源スイッチを押してスタンバイモードを作動させるには、[コントロールパネル]の[電源オプション]の[詳細]タブにある[コンピュータの電源ボタンを押したとき]で[スタンバイ]に設定しておいてください。

休止状態

- 1 [コントロールパネル]を開き、[電源オプション]アイコンをダブルクリックする
- 2 [電源オプションのプロパティ]の[電源設定]タブの[システム休止状態]で時間を選択する
初期値は25分です。



・システムを休止状態にすると、LAN接続は切断され、取り付けられているオプションカードの動作は停止します。

手でシステムの休止状態を作動させることもできます。
操作方法は次のとおりです。

スリープスイッチを押す

スリープボタンを押してスタンバイモードを作動させるには、[コントロールパネル]の[電源オプション]の[詳細]タブにある[コンピュータのスリープボタンを押したとき]で[休止状態]に設定しておいてください。

[スタート]メニューからの実行

[スタート]ボタンをクリックし、[シャットダウン]をクリックする
[休止状態]をクリックし、[OK]ボタンをクリックする



・[スタート]メニューから休止状態を実行するには、あらかじめ[電源オプションのプロパティ]の[休止状態]タブで[休止状態をサポートする]をチェックしておいてください。

電源スイッチを押す

電源スイッチを押してスタンバイモードを作動させるには、[コントロールパネル]の[電源オプション]の[詳細]タブにある[コンピュータの電源ボタンを押したとき]で[休止状態]に設定しておいてください。

● ディスプレイ装置の省電力機能

- 1 [コントロールパネル]を開き、[電源オプション]アイコンをダブルクリックする
- 2 [電源オプションのプロパティ]の[電源設定]タブの[モニタの電源を切る]で時間を選択する
初期値は15分です。

● ハードディスク装置の省電力機能

- 1 [コントロールパネル]を開き、[電源オプション]アイコンをダブルクリックする
- 2 [電源オプションのプロパティ]の[電源設定]タブの[ハードディスクの電源を切る]で時間を選択する
初期値は20分です。

4 省電力モードから復帰するには

● スタンバイモードからの復帰

スタンバイモードから復帰するには、次の操作を行なってください。

- スリープスイッチを押す
- マウスまたはキーボードで操作する

ディスプレイ装置またはハードディスク装置の省電力モードから復帰するには、マウスまたは、キーボードを操作してください。



メモ

- ・マウスまたはキーボード入力で通常モードに戻すには、BIOSセットアップの「POWER MANAGEMENT SETUP」の「Keyboard & PS/2 Mouse Access」の設定が「Monitor」になっている必要があります。

☞ BIOSセットアップについて ☞ 「5章 BIOSセットアップについて」

● 休止状態からの復帰

休止状態から復帰するには、スリープスイッチを押してください。